資料

町別カルテ

各調査結果を基に、区の平均値と町別の数値の比較を行い、町別カルテを作成した。

町別カルテは、以下 6 つの指標を用いて区平均との比較を行った。

指標	指標の意味
緑被率（%）	町別の樹木、草地、屋上緑化などの植物で覆われた部分の割合を示すもので、町別の緑の総量を比較する。
樹林率（%）	樹冠投影面積 300 ㎡以上で樹高 7m 以上の高木で構成された樹木群面積の町別の割合を示すもので、まとまりのある高木郡の量を比較する。
樹木本数（本 1/10ha）	町別の幹周り 100cm 以上で樹高 9m 以上の分布密度を示すもので、総量の豊かな立体的な緑の量を比較する。
1 人当たり公園面積（㎡/人）	町別の公園面積の町別人口（平成 29 年度 1 月 1 日住民基本台帳）に対する割合を示す。
接道部緑化率（%）	延長 1.8m 以上の生け垣（高さ 1.2m 以上、延長 1.8m 以上）と植樹帯（高さ 30cm 以上、1.2m 未満、延長 1.8m 以上）の町別の接道部延長に対する割合を示す。
屋上緑化面積（㎡/10ha）	建物上にある緑化（屋上緑化）の、町別の 10ha 当たりの面積を示す。

南台

<土地利用等>

区の最南部に位置し、方南通り、中野通り沿道が近隣商業地域である。南台五丁目地区は準工業系地域（特別工業地区）であり、その他は第1種中高層住居専用地域である。中野通り沿道では、建物の中高層化がみられる。
南台四丁目地区は、地区計画に指定されており、南台一・二丁目地区は、防災街区整備地区計画に指定されている。
独立住宅及び集合住宅の割合は約半数である。
人口密度は、区内で4番目に高い。

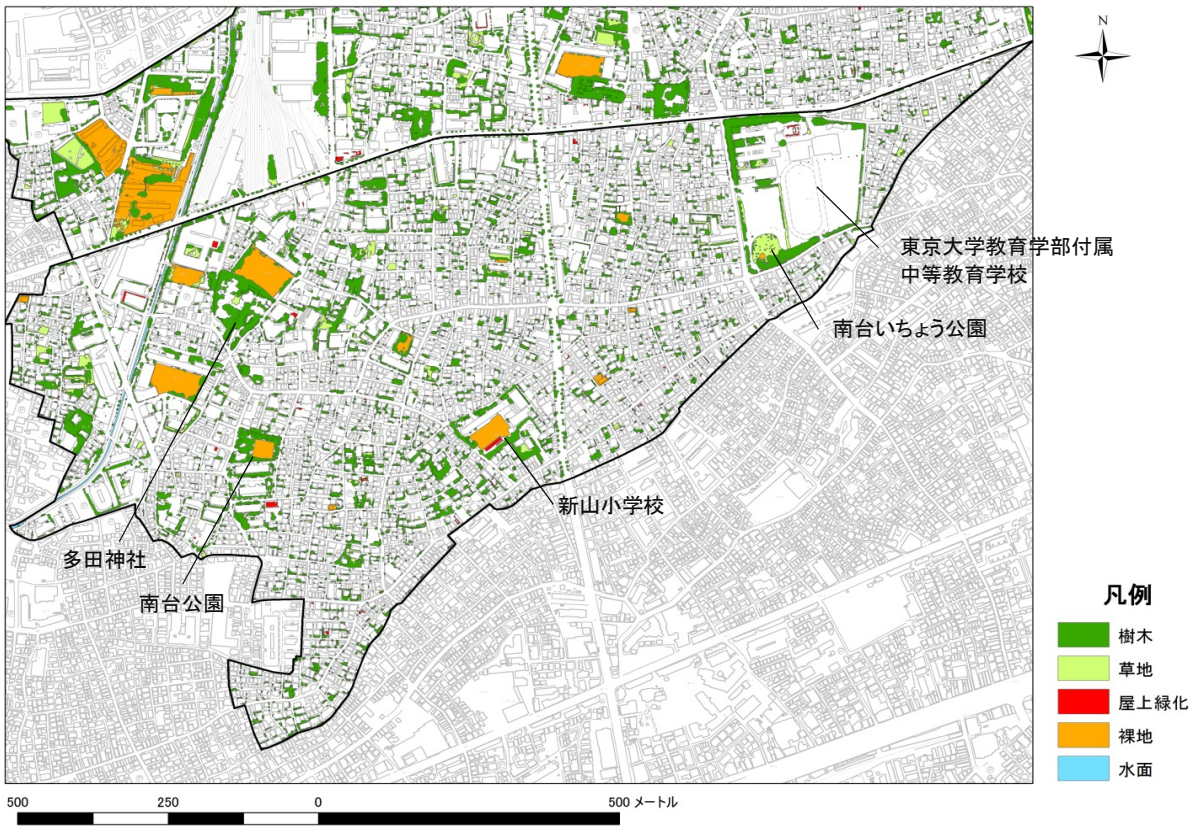
＜緑の概況＞

■小規模な敷地が多く緑化余地が限られており、まとまりのあるみどりに乏しい。一方で、東側に位置する東京大学教育学部付属中等教育学校や新山小学校、南台公園等ではまとまった樹木地が確認される。
■平成19年度調査以降に、南台いちょう公園が整備され、規模の大きい草地を有する。
■西側の多田小学校付近には、多田神社における社寺林（保護樹林）が存在する。
■屋上緑化は、中央南に位置する新山小学校等において整備されている。
■準工業地域（特別工業地区）に位置する大規模商業施設や事業所等では規模の大きい接道部緑化がみられる。

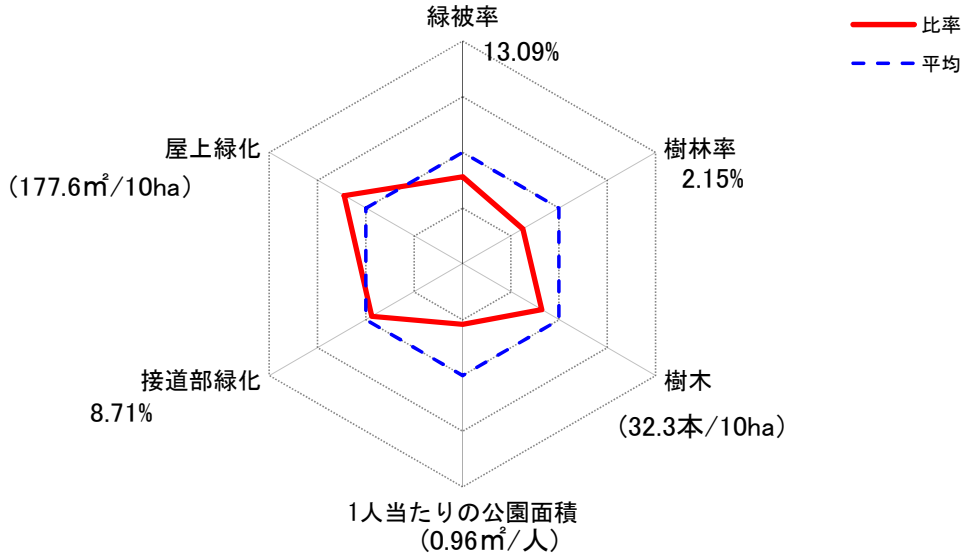
＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、13.09%と町別平均（16.73%）を大幅に下回るが、平成19年度調査からは屋上緑化率が増加しており、区の平均を上回っている。同様に接道部緑化も増加している。
■みどり率は、南台いちょう公園が整備されたことにより上がった。
■樹林は、社寺林、集合住宅、公園に多くみられる。民有地における樹林の減少が確認されている。
■壁面緑化箇所数は町別で最も高く、箇所数では、町別で最も増加している。面積は中野に次いで高かった。
【課題】小規模な敷地においても緑化が可能であり増加傾向にある接道部、屋上、壁面緑化の更なる推進が必要である。

<緑被地の分布状況>



<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	82.77 ha	人口	19,890 人	人口密度	24,030 人/km²

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	13.39	13.09	−0.30
樹木率	12.18	11.82	−0.36
草地率	1.08	1.10	0.02
屋上緑化率	0.13	0.17	0.05

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	14.14	14.45	0.30
みどり面積（㎡）	117074	119,580	2,506

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	18,083	17,759	−324
屋敷林	2,107	1,945	−162
社寺林	4,833	5,098	264
公園	540	2,055	1,515
集合住宅	−	2,040	2,040
その他	10,603	6,621	−3,982

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	333	267	−66
本/10ha	40.2	32.3	−7.9

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	165	297	132
延長（m）	2,934.0	3,212.5	278.5
接道部緑化率(%)	9.32	8.71	−0.61

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	68	54	−14
面積（㎡）	1,051	1,470	418
㎡/10ha	127.0	177.6	51

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	6	12	6
面積（㎡）	208	569	361
㎡/10ha	25.1	68.7	43.6

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	11	13	2
面積(㎡)	9,842	19,058	9,216
1人当たり公園面積（㎡/人）	0.52	0.96	0.44

弥生町

<土地利用等>

方南通りと神田川にはさまれた町で、方南通り、中野通りなどの幹線道路沿道が近隣商業地域、都営地下鉄車庫が準工業地域、神田川南側が第1種住居地域、弥生町五丁目に第1種低層住居専用地域が指定されている。その他は、第1種中高層住居専用地域である。
弥生町六丁目には東京都住宅供給公社の大規模団地があり、集合住宅の占める割合が独立住宅と比較しやや高い。
弥生町三丁目及び周辺地区は、防災まちづくりを推進するため、不燃化促進区域に指定されている。
人口密度は、区の平均(20,498人/km²)より22,378人/km²と高い。

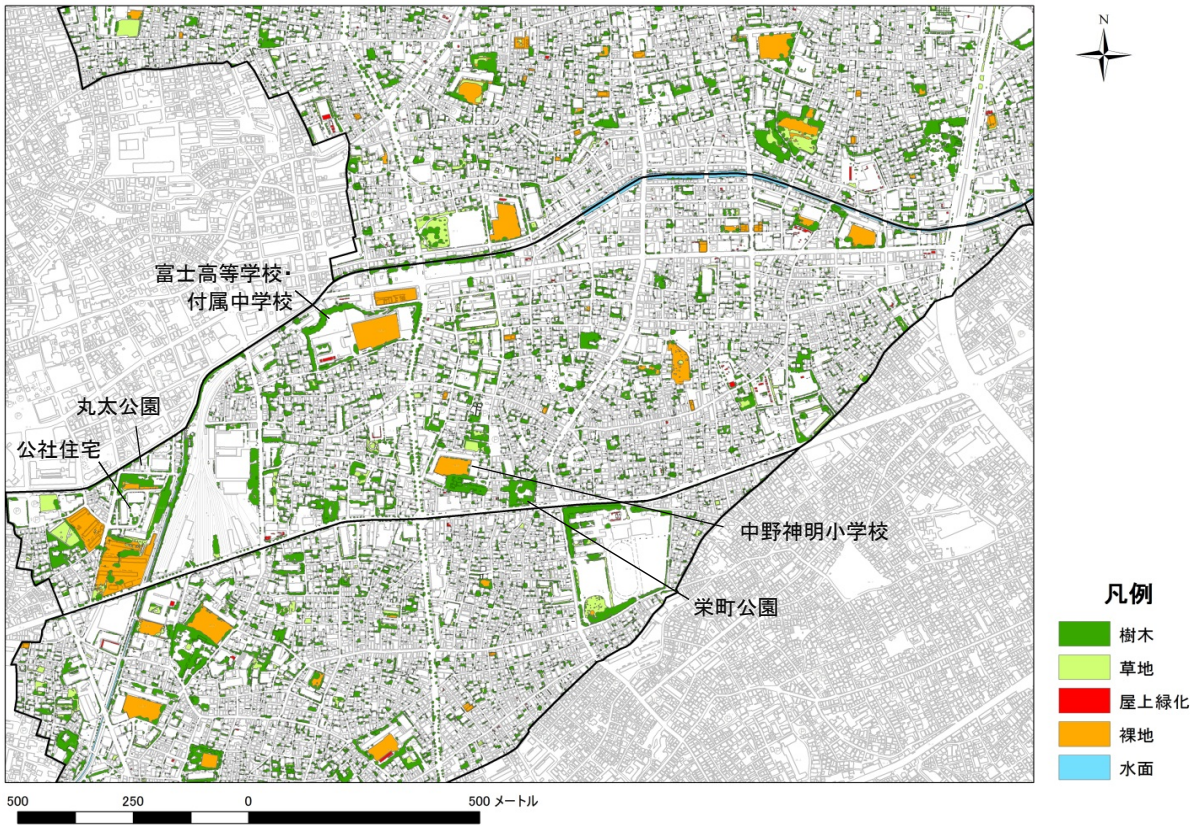
＜緑の概況＞

■北側の都立富士高等学校/付属中学校、区立向台小学校、南側の中野神明小学校等でまとまった樹木地がみられる。また集合住宅の周辺に樹木地が広がる。
■草地は主に中野神明小学校における校庭芝生化、公社住宅、南部すこやか福祉センターにみられる。
■屋上緑化は、南部すこやか福祉センターや都立富士高等学校/付属中学校等に確認されている。
■小規模な公園が多く、1人当たりの公園面積が0.42㎡/人と区の平均(1.77㎡)を下回る。
■接道部緑化は、植樹帯が多くみられる。

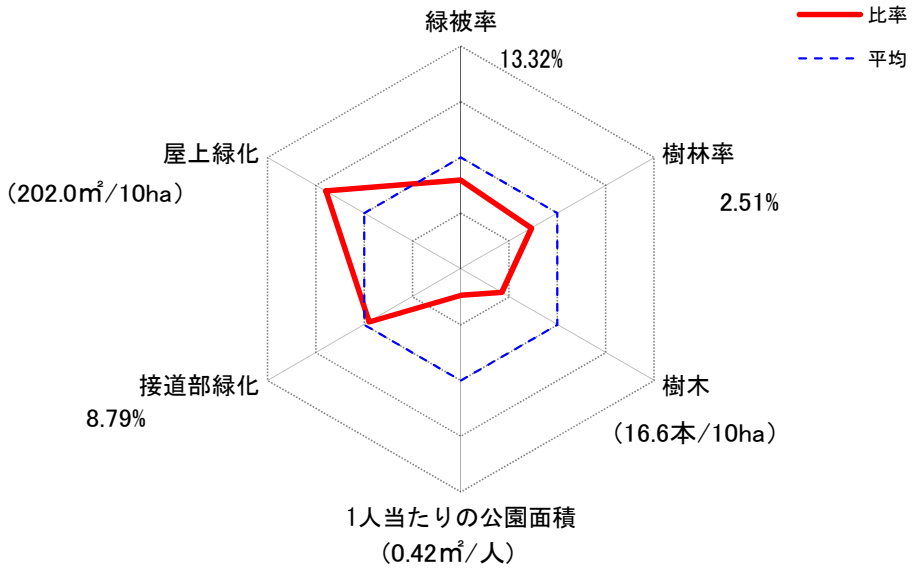
＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、13.32%と町別平均(16.73%)を大幅に下回るが、平成19年度調査からは樹木・草地・屋上緑化率いずれも増加している。また10ha当たりの屋上緑化面積は、区の平均(144.74㎡)を上回る。
■草地は主に学校における芝生化された校庭や公的集合住宅の新設に伴い増加した。
■樹林面積は、公園・学校における樹木の生長や公的集合住宅の新設に伴い増加している。
■接道部緑化は生け垣が減少したが、植樹帯が増加したことにより増加となっている。
■屋上緑化、壁面緑化も増加傾向にある。
【課題】民有地における更なる接道部、屋上、壁面緑化の推進、また区民の憩いの場となる公園等のみどりが小規模であることから神田川沿いを活用した緑化整備の検討が必要である。

<緑被地の分布状況>



<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	101.09 ha	人口	22,378 人	人口密度	22,137 人/k㎡

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	12.73	13.32	0.58
樹木率	11.73	11.76	0.03
草地率	0.87	1.35	0.48
屋上緑化率	0.13	0.21	0.07

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	13.61	14.34	0.73
みどり面積（㎡）	137,578	144,923	7,345

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	14,484	25,395	10,911
屋敷林	3,136	2,645	−491
社寺林	2,151	3,198	1,047
公園	2,950	5,298	2,348
集合住宅	1,691	6,038	4,347
その他	4,555	8,217	3,661

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	239	168	−71
本/10ha	23.6	16.6	−7.0

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	270	365	95
延長（m）	3,952.3	4,049.7	97.4
接道部緑化率(%)	9.20	8.79	−0.41

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	89	91	2
面積（㎡）	1,346	2,042	696
㎡/10ha	133.1	202.0	69

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	3	6	3
面積（㎡）	71	220	149
㎡/10ha	7.0	21.8	14.8

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	11	12	1
面積(㎡)	9,127	9,334	207
1人当たり公園面積（㎡/人）	0.44	0.42	−0.02

本町

<土地利用等>

神田川と青梅街道にはさまれた町で、青梅街道沿道と中野坂上駅周辺、中野新橋駅北側が商業地域に指定されている。幹線道路沿道は、商業地域、近隣商業地域、一部が第1種住居地域に指定されている。その他は第1種中高層住居専用地域である。
人口密度は26,759人/k㎡と区内で最も高い。
中野坂上駅周辺の本町一・二丁目地区では、市街地再開発事業が行われ、高層の建物が建ち並ぶ。
集合住宅の割合が独立住宅と比較し高い。

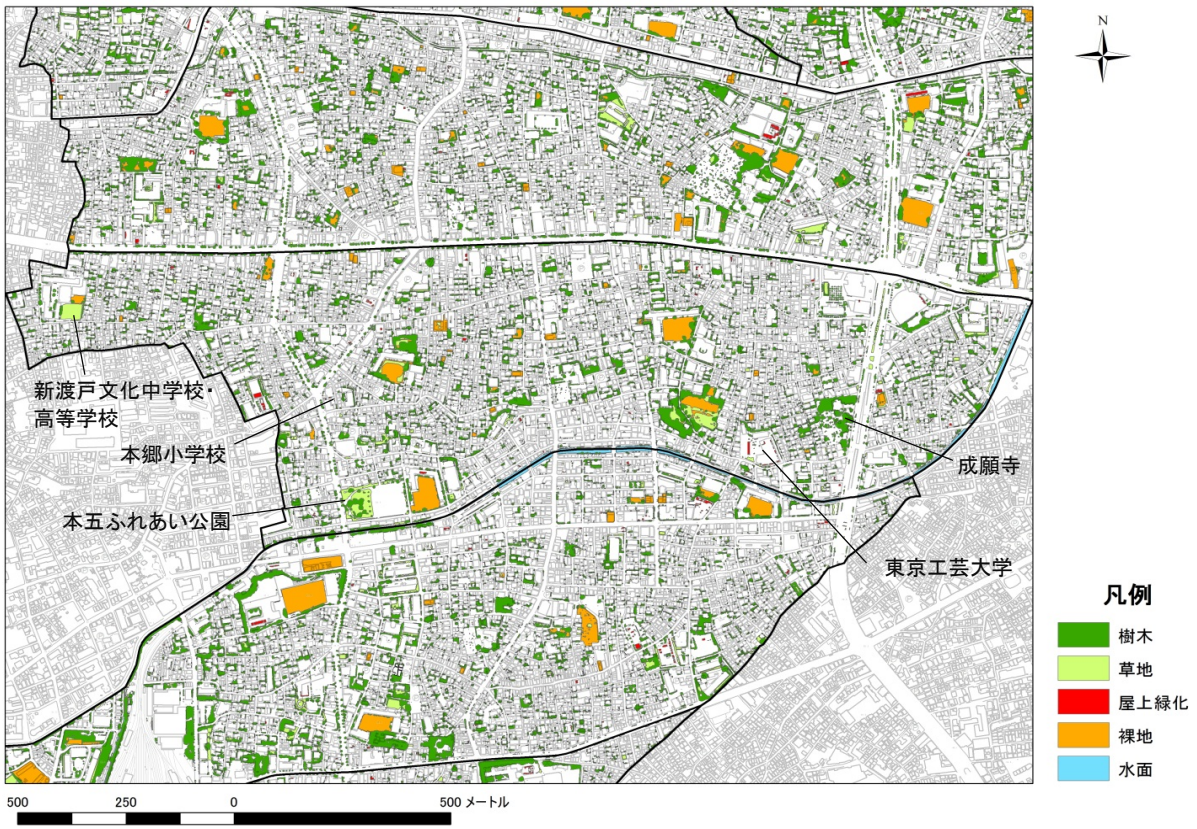
＜緑の概況＞

■人口密度も高く、小規模な住宅が多く広がり、緑化余地が限られていることから樹木地や接道部緑化は小規模なものが多い。数カ所ではるが、中野本郷小学校や東郷公園東側に社寺林等のまとまった緑地がみられる。
■平成19年度調査以降に本五ふれあい公園が新たに整備され、草地が広がる。また新渡戸文化中学校・高等学校の校庭芝生化による草地が確認されている。
■屋上緑化は、東京工芸大学、第二中学校や集合住宅等においてみられる。

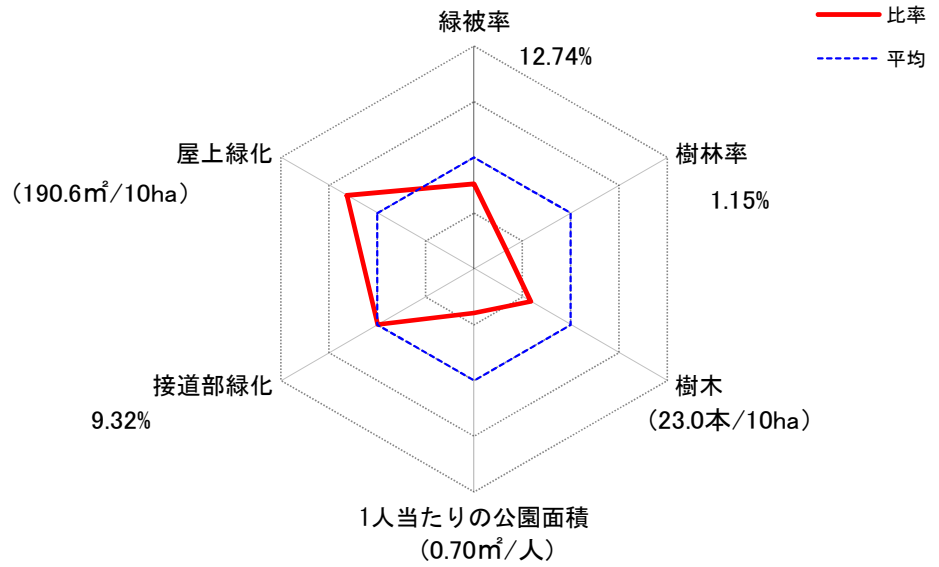
＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、12.74%と町別平均(16.73%)をを下回るが、平成19年度調査からは屋上緑化が増加し、10ha当たりの屋上緑化面積が区の平均(144.74㎡)を上回っている。草地率も主に本五ふれあい公園の整備、私立中・高等学校における校庭芝生化により増加した。
■みどり率については町別で最も増加した。これは本五ふれあい公園が整備されたことが主な要因である。
■樹林は、屋敷林、社寺林が主を占めるが、屋敷林は減少が確認されている。
【課題】学校や公園における樹木・草地の増加が確認されたが、民有地のみどりは減少していることから、今後は小規模な敷地でも可能な接道部、壁面、屋上緑化を推進しみどりを確保していくことが必要である。

<緑被地の分布状況>



<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	107.63 ha	人口	28,802 人	人口密度	26,759 人/k㎡

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	12.38	12.74	0.36
樹木率	11.54	10.94	−0.60
草地率	0.66	1.61	0.95
屋上緑化率	0.18	0.19	0.01

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	13.32	14.39	1.06
みどり面積（㎡）	143,397	154,858	11,461

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	18,028	12,406	−5,622
屋敷林	7,031	4,936	−2,095
社寺林	3,290	4,708	1,418
公園	318	952	635
集合住宅	3,358	−	−3,358
その他	4,032	1,810	−2,222

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	216	248	32
本/10ha	20.1	23.0	2.9

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	276	363	87
延長（m）	3,081.9	3,732.8	650.9
接道部緑化率(%)	8.41	9.25	0.84

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	113	114	1
面積（㎡）	1,984	2,052	68
㎡/10ha	184.3	190.61	6

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	2	5	3
面積（㎡）	74	172	98
㎡/10ha	6.9	16.0	9.1

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	15	17	2
面積(㎡)	8,029	20,072	12,043
1人当たり公園面積（㎡/人）	0.31	0.70	0.39

中央

<土地利用等>

青梅街道と大久保通りの間に位置し、青梅街道沿道が商業地域に指定されており、中高層建物が多い。中野通り、山手通り等の幹線道路が近隣商業地域、その他は第1種中高層住居専用地域に指定されている。
独立住宅と比較し集合住宅の占める割合が高く、人口密度も本町に次いで24,779人/k㎡と非常に高い。

＜緑の概況＞

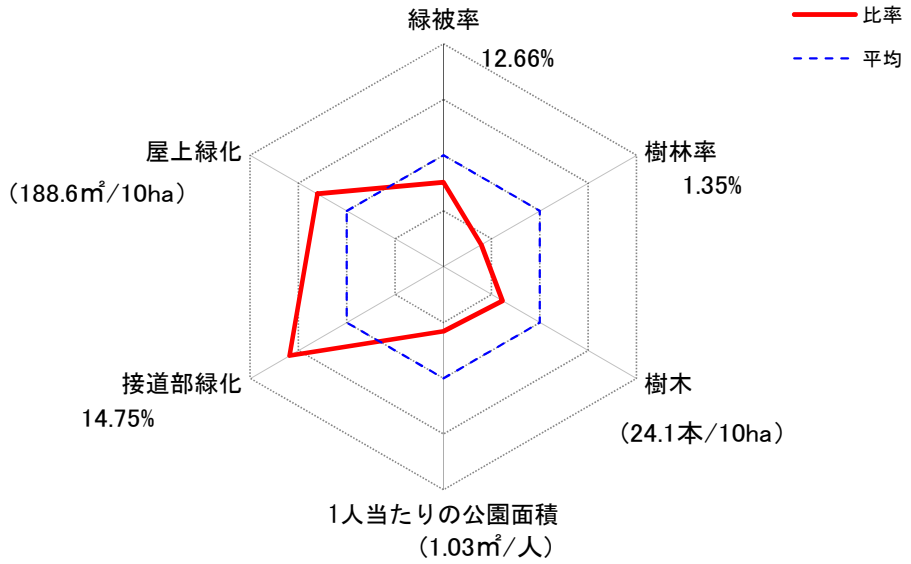
■小規模敷地が多く、まとまった緑被地に乏しいが、中央二丁目の宝仙寺の社寺林や集合住宅に樹林地がみられる。
■接道部緑化は植樹帯が多く、延長の長い接道部緑化が東側の集合住宅や桃園川緑道沿いで確認されている。
■草地は、主に芝生化された塔山小学校の校庭や集合住宅において確認されている。
■屋上緑化は私立学校や北東に位置する塔山小学校、西側の桃花小学校においてみられる。
■山手通りの整備が終了したことで、街路樹及び道路内に小規模であるが草地がみられる。

＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、12.66%と町別平均(16.73%)を大幅に下回る。主に平成19年度調査からは住宅地の開発等により樹木率が減少している。草地率は増加しており、これは学校における校庭芝生化等による。
■10ha当たりの屋上緑化は区の平均(144.74㎡)を大きく上回り、学校における屋上緑化が主な増加の要因である。
■接道部緑化率は、区の平均(9.26%)を大幅に上回り町別で最も高い。また増加傾向にある。
■樹林は、屋敷林、集合住宅の樹林の減少が確認されている。
【課題】人口密度の高く、小規模な敷地でも緑化が可能な接道部、屋上、壁面緑化の推進が望まれる。

<緑被地の分布状況>

<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	115.36 ha	人口	28,585 人	人口密度	24,779 人/k㎡

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	12.39	12.66	0.27
樹木率	11.60	11.52	−0.07
草地率	0.68	0.95	0.26
屋上緑化率	0.10	0.19	0.08

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	13.79	14.06	0.27
みどり面積（㎡）	159,042	162,178	3,136

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	10,790	15,577	4,787
屋敷林	1,255	1,060	−195
社寺林	5,407	7,653	2,246
公園	1,683	3,422	1,739
集合住宅	1,116	851	−265
その他	1,330	2,592	1,262

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	282	278	−4
本/10ha	24.4	24.1	−0.3

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	254	474	220
延長（m）	5,294.6	6,376.9	1082.3
接道部緑化率(%)	13.55	14.75	1.20

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	89	106	17
面積（㎡）	1,201	2,176	975
㎡/10ha	104.1	188.6	84

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	6	12	6
面積（㎡）	182	310	128
㎡/10ha	15.8	26.9	11.1

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	19	20	1
面積(㎡)	28,479	29,313	834
1人当たり公園面積（㎡/人）	1.09	1.03	−0.06

東中野

<土地利用等>

区の最東部に位置し、山手通りとJR中央線が中央で交差している。また山手通り沿いには都営地下鉄大江戸線が通る。東中野駅、早稲田通り、山手通りの周辺が商業系の地域に指定されている。山手通り沿道は、近隣商業地域に指定されており、山手通りを境とした西側は第1種低層住居専用地域、東側は、第1種中高層住居専用地域が広がる。
人口密度は、町別で3番目に高く、24,508人/k㎡である。
独立住宅と比較し集合住宅の占める割合が高い。

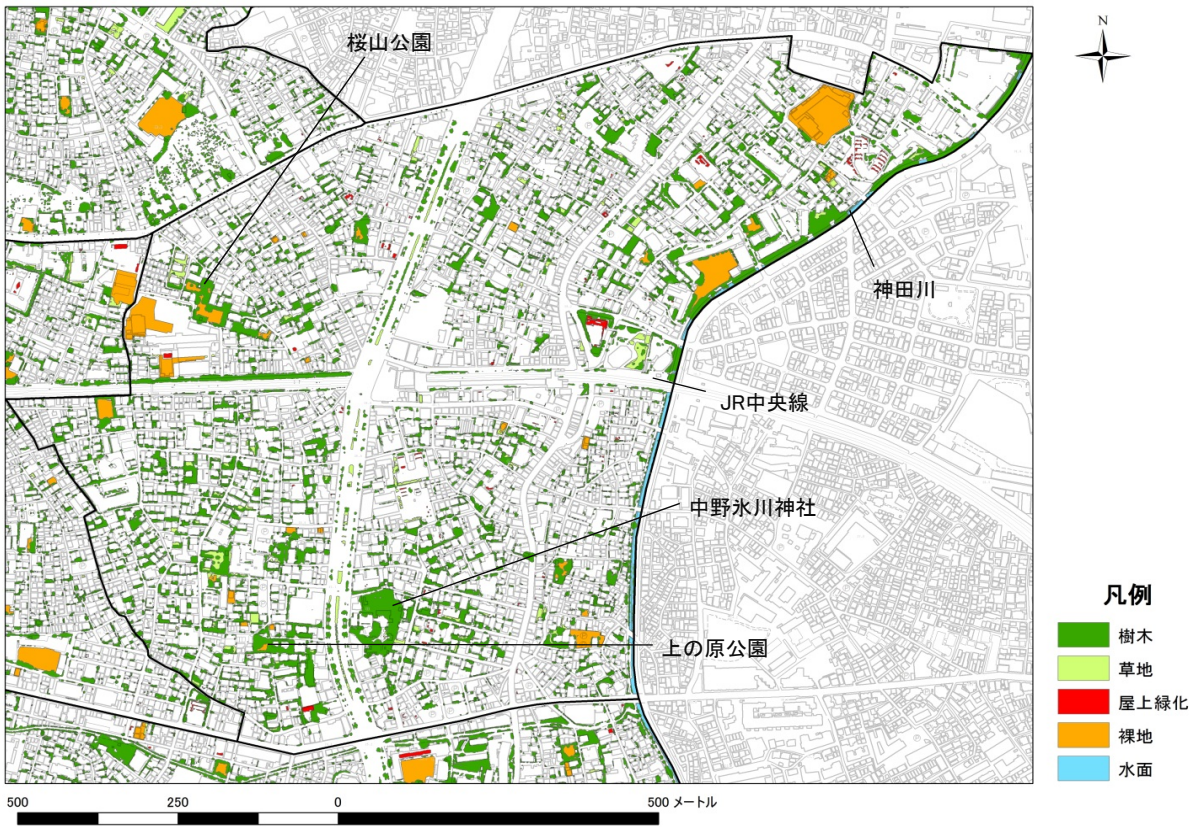
＜緑の概況＞

■山手通り沿いの南側には、規模の大きい社寺林がみられる。また、神田川沿い、JR中央線鉄道軌道沿い、上の原公園、みどり公園においては樹林地がみられる。その他は集合住宅における小規模な樹木地がみられる。
■山手通りの整備が終了したことで、街路樹及び道路内に小規模であるが草地がみられる。
■草地は、東中野五丁目の集合住宅等で確認されている。
■屋上緑化は、平成19年度調査以降に新設された東中野駅周辺の商業施設、集合住宅、保育園等でみられる。

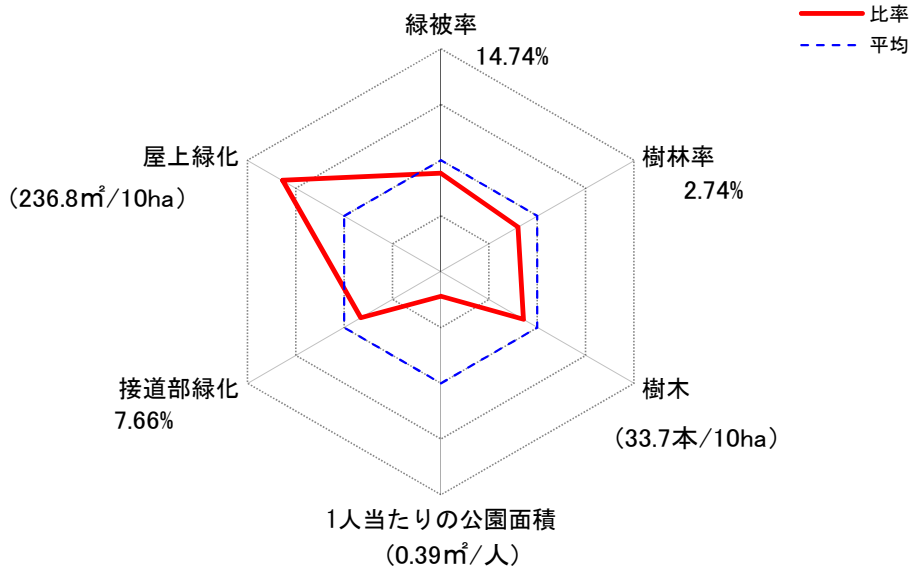
＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、14.74%と町別平均(16.73%)を大幅に下回るが、平成19年度調査より樹木率、草地率、屋上緑化率のいずれも増加している。特に10ha当たりの屋上緑化面積は区の平均を大幅に上回り町別で2番目に大きい。
■樹林面積は、集合住宅の樹林を除き、いずれも増加している。特に公園の樹林は、平成19年度調査時には確認されなかったが、樹木の生長により増加した。一方で1人当たりの公園面積は0.39㎡/人と町別で最も小さい。
■みどり地面積の増加は、町別で2番目に高い
【課題】民有地における緑化指導の推進が望まれる。また新たなみどりの拠点として、新たな公園用地確保に向けた検討や神田川沿いを活用した緑化等が考えられる。

<緑被地の分布状況>



<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	95.02 ha	人口	23,288 人	人口密度	24,508 人/k㎡

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	13.67	14.74	1.07
樹木率	12.90	13.62	0.72
草地率	0.62	0.89	0.27
屋上緑化率	0.15	0.24	0.08

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	14.46	15.49	1.04
みどり面積（㎡）	137,360	147,212	9,852

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	17,947	26,068	8,121
屋敷林	2,552	6,877	4,325
社寺林	5,100	5,231	131
公園	－	1,939	1,939
集合住宅	3,101	1,916	−1,185
その他	7,194	10,105	2,911

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	273	320	47
本/10ha	28.7	33.7	5.0

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	122	326	204
延長（m）	1,652.6	3,097.1	1,444.5
接道部緑化率(%)	4.55	7.66	3.11

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	80	86	6
面積（㎡）	1,459	2,250	791
㎡/10ha	153.5	236.8	83

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	5	6	1
面積（㎡）	123	253	130
㎡/10ha	12.9	26.6	13.7

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	9	9	－
面積(㎡)	8,759	9,091	333
1人当たり公園面積（㎡/人）	0.46	0.39	−0.07

中野

<土地利用等>

大久保通りと早稲田通りの間に位置し、JR中央線が中央部を通る。中野駅周辺地域は区役所等の公共公益施設や商業・業務系の事業所が広がり、中野区で最もにぎわいのある地域である。
中野駅周辺及び中野通り沿道は、商業地域で早稲田通り沿道が近隣商業地域に指定されている。操車場は準工業地域、一部は第1種住居地域に指定されており、その他は第1種中高層住居専用地域となっている。
人口密度は26,692人/k㎡と区の平均(20,498人/k㎡)を上回る。
警察大学校等跡地は中野四丁目地区地区計画区域に指定されており、再開発事業が行われた。
また中野駅南口地区、中野駅西口地区は地区計画区域に指定されている。

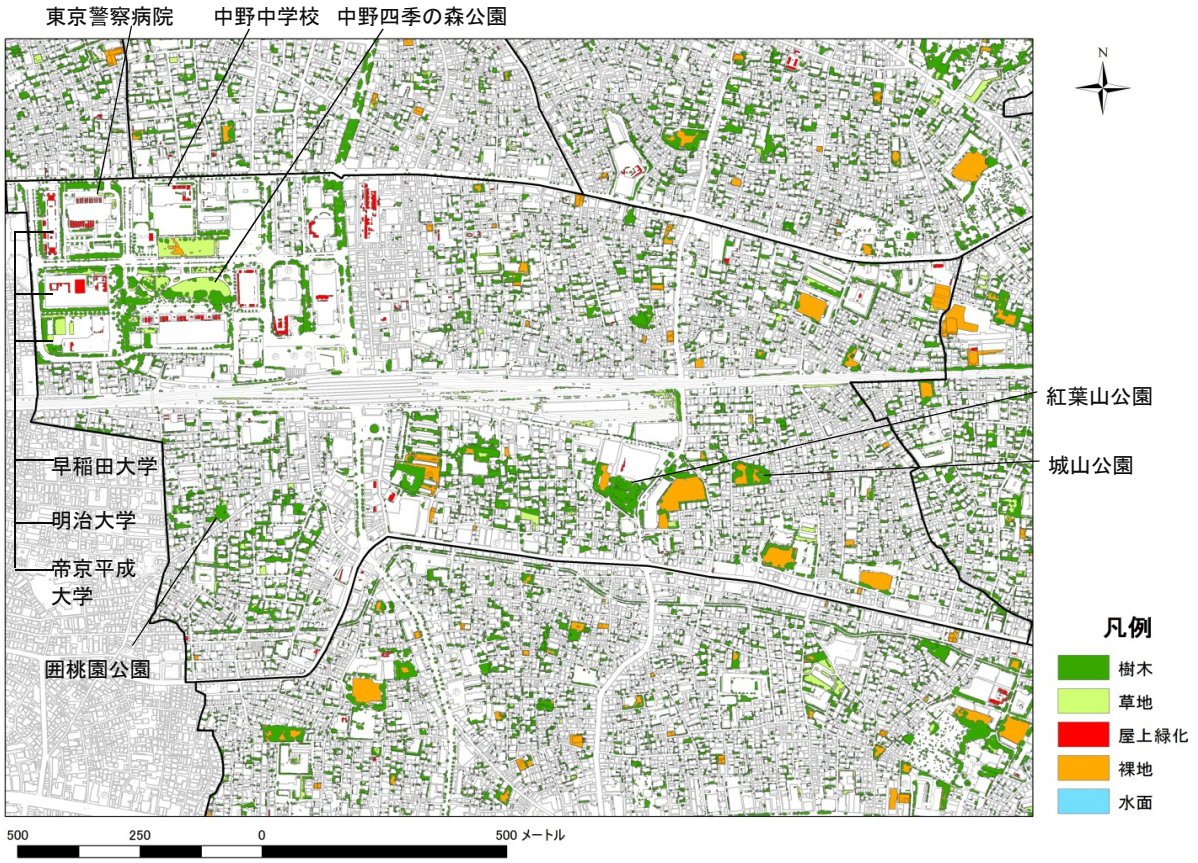
＜緑の概況＞

■警察大学校跡地の土地利用転換による開発により、大学・警察病院等が新設され、まとまった樹林地、樹木地が保全・創出され、新たに屋上緑化がみられる。その他、JR中央線沿線の南側に紅葉山公園、囲桃公園、城山公園や中野南自転車駐車場等で樹林地が確認された。
■草地は、新たに整備された中野四季の森公園等にみられる。
■接道部緑化は、延長の長いものが中野四丁目の私立大学や区役所周囲等に確認されている。
■壁面緑化は、規模の大きいものが中野四丁目の明治大学、区立中野中学校等で確認された。

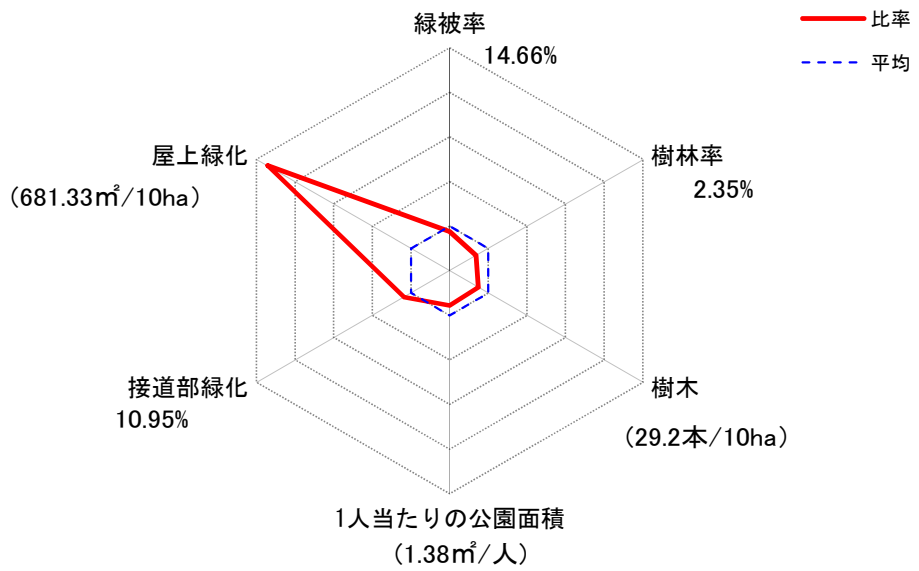
＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、14.66%と町別平均(16.73%)を下回るが、10ha当たりの屋上緑化は、区の平均を上回り突出しており、主な増加要因は、中野四丁目の再開発により大学や警察病院等で屋上緑化が導入されたことである。また草地、壁面緑化、接道部緑化も主に同上の理由で増加した。壁面緑化は、町別で最も大きく、接道部緑化も、区の平均を大幅に上回る。
■樹木本数が町別で最も減少したことから分かるとおり、樹林面積は、上記再開発により減少した。また、住宅用地においても減少が確認された。
【課題】中野四丁目地区の再開発事業に伴い、新たなみどりの拠点が創出された。今後は、既存と新たに創出されたみどりの保全と民有地における接道部、屋上、壁面緑化の推進が課題である。

<緑被地の分布状況>



<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	145.66 ha	人口	26,692 人	人口密度	18,325 人/k㎡

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	14.25	14.66	0.42
樹木率	13.31	12.25	−1.05
草地率	0.63	1.73	1.10
屋上緑化率	0.31	0.68	0.38

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	14.88	15.61	0.73
みどり面積（㎡）	216,700	224,735	8,035

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	50,820	34,192	−16,628
屋敷林	4,537	1,102	−3,435
社寺林	1,220	1,477	257
公園	5,524	9,895	4,371
集合住宅	4,087	1,891	−2,196
その他	35,452	19,827	−15,625

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	597	425	−172
本/10ha	41.0	29.2	−11.8

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	317	467	150
延長（m）	5,115.7	5,480.2	364.4
接道部緑化率(%)	11.39	10.95	−0.44

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	79	102	23
面積（㎡）	4,457	9,924	5,467
㎡/10ha	306.1	681.3	375

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	8	10	2
面積（㎡）	105	615	510
㎡/10ha	7.2	42.2	35.0

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	19	22	3
面積(㎡)	21,693	36,901	15,208
1人当たり公園面積（㎡/人）	0.91	1.38	0.47

上高田

<土地利用等>

区の東に位置し、新井薬師駅周辺は商業地域、早稲田通り、中野通り等の幹線道路沿道は近隣商業地域に指定されている。東側は、第1種低層住居専用地域、西側は第1種中高層住居専用地域に指定されている。
東側には、多くの寺院が見られる。
人口密度は、20,571人/k㎡と区の平均(20,498人/k㎡)とほぼ等しい。
集合住宅と独立住宅の割合もほぼ同割合である。

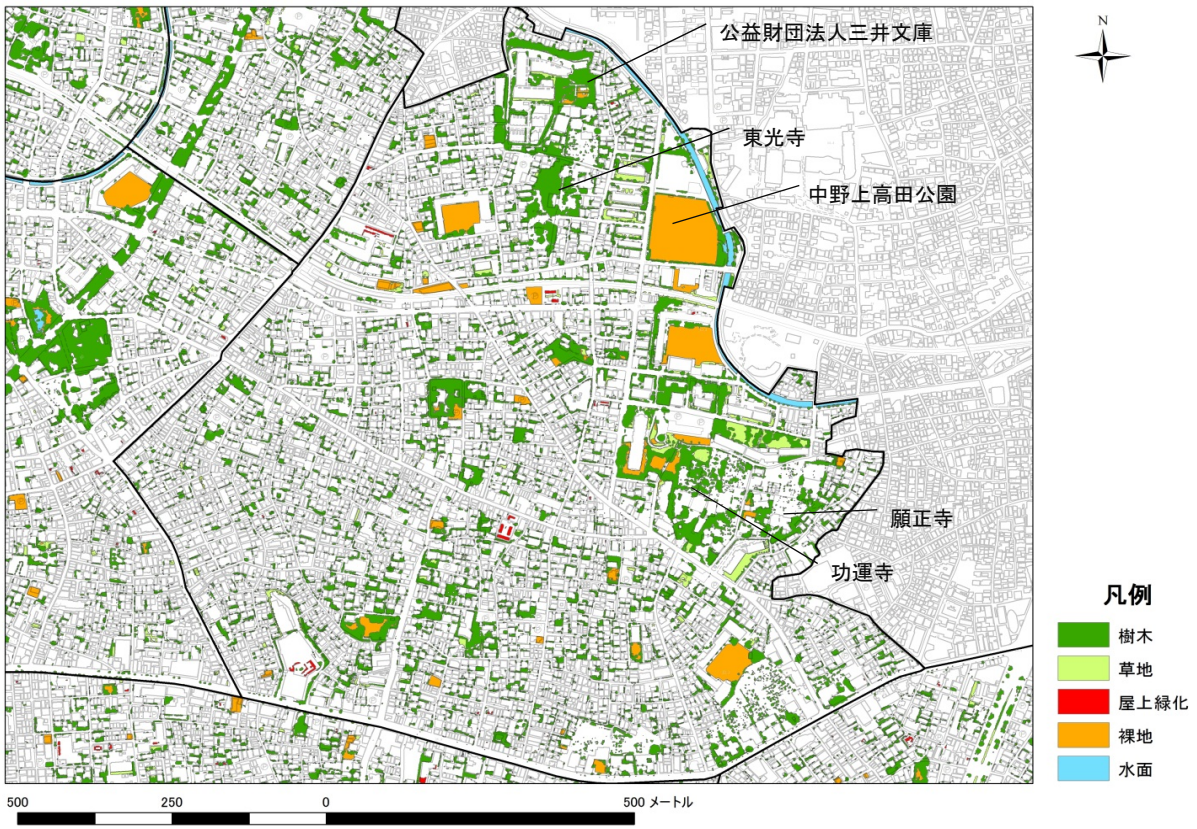
＜緑の概況＞

■まとまった樹木地は、ほとんどが社寺林であり、樹林地面積の約半数を占める。その他北側に位置する規模の大きい集合住宅等において樹林地がみられる。
■規模の大きい中野上高田公園を有していることにより1人当たりの公園面積が1.39㎡/人と大きい。
■屋上緑化は、主に学校等で確認され、草地は上高田四丁目の集合住宅等でみられた。
■接道部緑化は、規模の大きいものが学校や集合住宅等において確認されている。

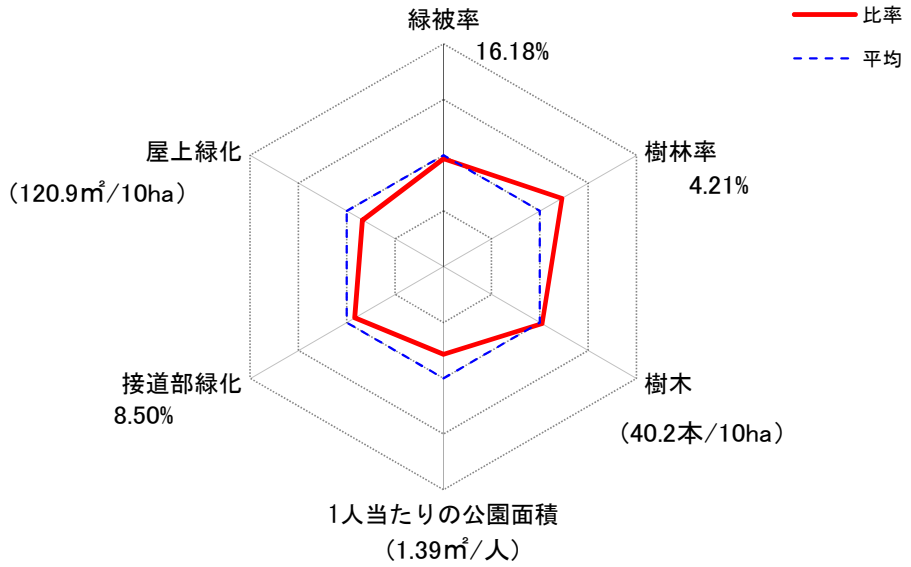
＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、16.18%と町別平均(16.73%)と近い数値である。樹林率は4.21%と区の平均(3.43%)を上回る。
■10ha当たりの屋上緑化面積及び樹木本数は、区の平均にほぼ等しく、また増加傾向にある。
■平成19年度調査からの樹林面積の増加は町別で2番目に高く、社寺林や公園における樹木の生長が確認された。特に公園の樹林においては、平成19年度調査では確認されなかったが、樹木が生長したことによる増加がみられた。一方で、屋敷林は減少が確認された。
【課題】公園や社寺林等の既存のみどりの保全及びみどりの比較的少ない西側地域に対する施策等の検討が必要である。

<緑被地の分布状況>



<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	100.54 ha	人口	20,682 人	人口密度	20,571 人/k㎡

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	16.53	16.18	−0.35
樹木率	15.70	14.83	−0.88
草地率	0.74	1.23	0.49
屋上緑化率	0.09	0.12	0.03

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	18.96	18.74	−0.21
みどり面積（㎡）	190,750	188,452	−2,298

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	30,333	42,330	11,997
屋敷林	4,485	3,656	−829
社寺林	17,978	22,222	4,244
公園	−	3,415	3,415
集合住宅	2,345	4,755	2,411
その他	5,525	8,282	2,758

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	314	404	90
本/10ha	31.2	40.2	9.0

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	221	268	47
延長（m）	3,127.3	3,169.6	42.3
接道部緑化率(%)	9.66	8.50	−1.16

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	26	37	11
面積（㎡）	875	1,216	341
㎡/10ha	87.0	120.9	34

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	3	3	0
面積（㎡）	132	124	−8
㎡/10ha	13.1	12.3	−0.8

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	8	8	−
面積(㎡)	28,769	28,769	−
1人当たり公園面積（㎡/人）	1.48	1.39	−0.09

新井

<土地利用等>

中野通りを中心とした早稲田通りと妙正寺川の間に位置し、中野通りなどの幹線沿道は近隣商業地域、平和の森公園の一部と東京都水再生センターが準工業地域、一部分が第1種住居地域に指定されている。
上高田寄りの早稲田通り北側は一部第一種住居地域に指定されており、その他は第1種中高層住居専用地域である。
中野通りの西側の平和の森周辺地区は地区計画区域に指定されている。
人口密度は、区の平均(20,498人/km²)を上回り、22,497人/km²である。
集合住宅の占める割合が独立住宅と比較し高い。

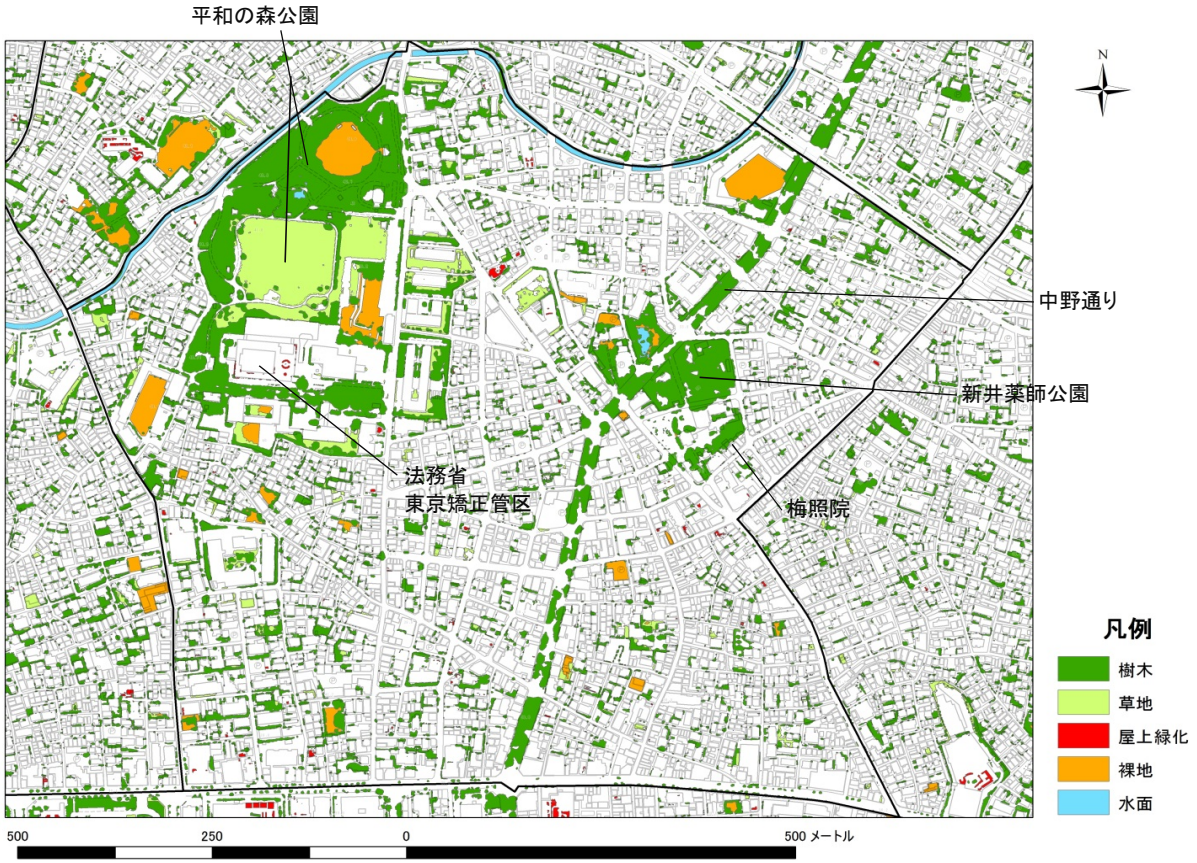
＜緑の概況＞

■樹林地は、平和の森公園、新井薬師公園が主を占める。また中野通り沿いには規模の大きい社寺林が存在する。
■中野通り沿いの桜並木は連続した線状の樹木地を形成し、小さい規模の樹木地は独立住宅等に見られる。
■草地は平和の森公園の芝生広場が主を占め、屋上緑化は集合住宅等に規模の小さいものが確認された。
■接道部緑化は、公社旧新井住宅、新井小学校、平和の森小学校や集合住宅等において確認されている。

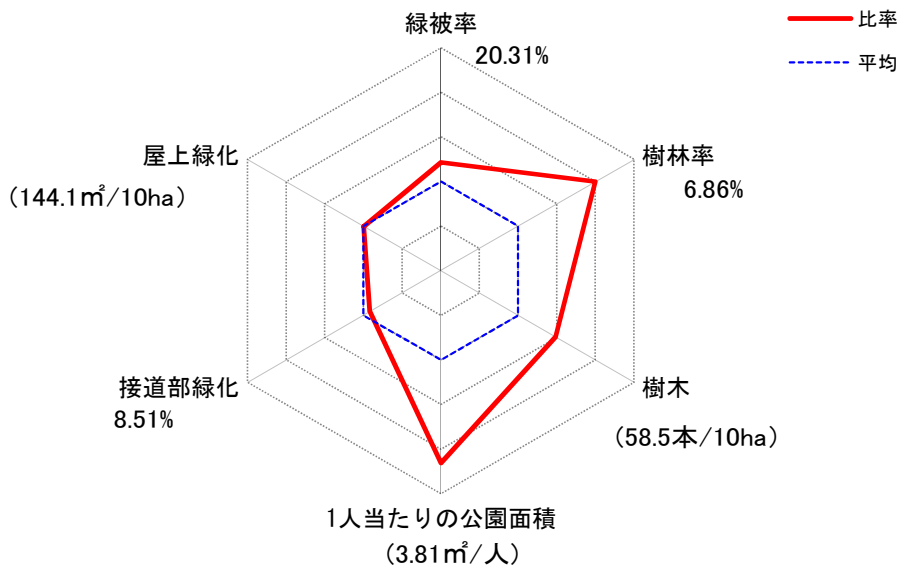
＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、20.31%と町別平均(16.73%)を大幅に上回る。新井薬師公園や平和の森公園における樹林の生長等(樹林面積の増加は町別で最も高い)が影響している。一方で、屋敷林と社寺林は減少が確認されている。
■1人当たりの公園面積が3.81㎡/人と松ヶ丘に次いで大きく、樹林率は6.86%と平均(3.43%)を大幅に上回り、そのほとんどを公園の樹林が占める。また10ha辺りの樹木本数も58.5本と平均(39.3本)を大幅に上回る。
■屋上緑化率は平成19年度調査から減少している。
【課題】公園における樹林や社寺林等の多く残る既存のみどりの継続的な保全・育成が望まれる。

<緑被地の分布状況>



<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	79.71 ha	人口	17,933 人	人口密度	22,497 人/k㎡

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	18.87	20.31	1.44
樹木率	15.30	16.68	1.38
草地率	3.40	3.49	0.09
屋上緑化率	0.17	0.14	−0.03

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	21.26	22.44	1.18
みどり面積（㎡）	169,489	178,867	9,378

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	40,950	54,704	13,754
屋敷林	344	−	−344
社寺林	3,816	2,026	−1,790
公園	28,240	40,244	12,004
集合住宅	−	−	0
その他	8,550	12,435	3,885

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	361	466	105
本/10ha	45.3	58.5	13.2

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	172	300	128
延長（m）	2,355.8	3,066.0	710.2
接道部緑化率(%)	6.74	8.51	1.77

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	67	73	6
面積（㎡）	1,360	1,149	−211
㎡/10ha	170.6	144.1	−26

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	9	10	1
面積（㎡）	261	252	−9
㎡/10ha	32.7	31.6	−1.1

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	7	8	1
面積(㎡)	68,121	68,373	252
1人当たり公園面積（㎡/人）	4.11	3.81	−0.30

沼袋

<土地利用等>

西武新宿線沼袋駅北側を中心とした妙正寺川と新青梅街道にはさまれた町である。沼袋駅周辺が近隣商業地域、商業地域、新青梅街道等の幹線沿道が近隣商業地域、その他は第1種低層住居専用地域に指定されている。
人口密度は、区の平均(20,498人/k㎡)にほぼ等しく20,359人/k㎡である。
沼袋一・三丁目地区は、地区計画区域に指定されている。
また、西武新宿線連続立体交差事業が進行中である。
独立住宅の割合が集合住宅と比較し高い。

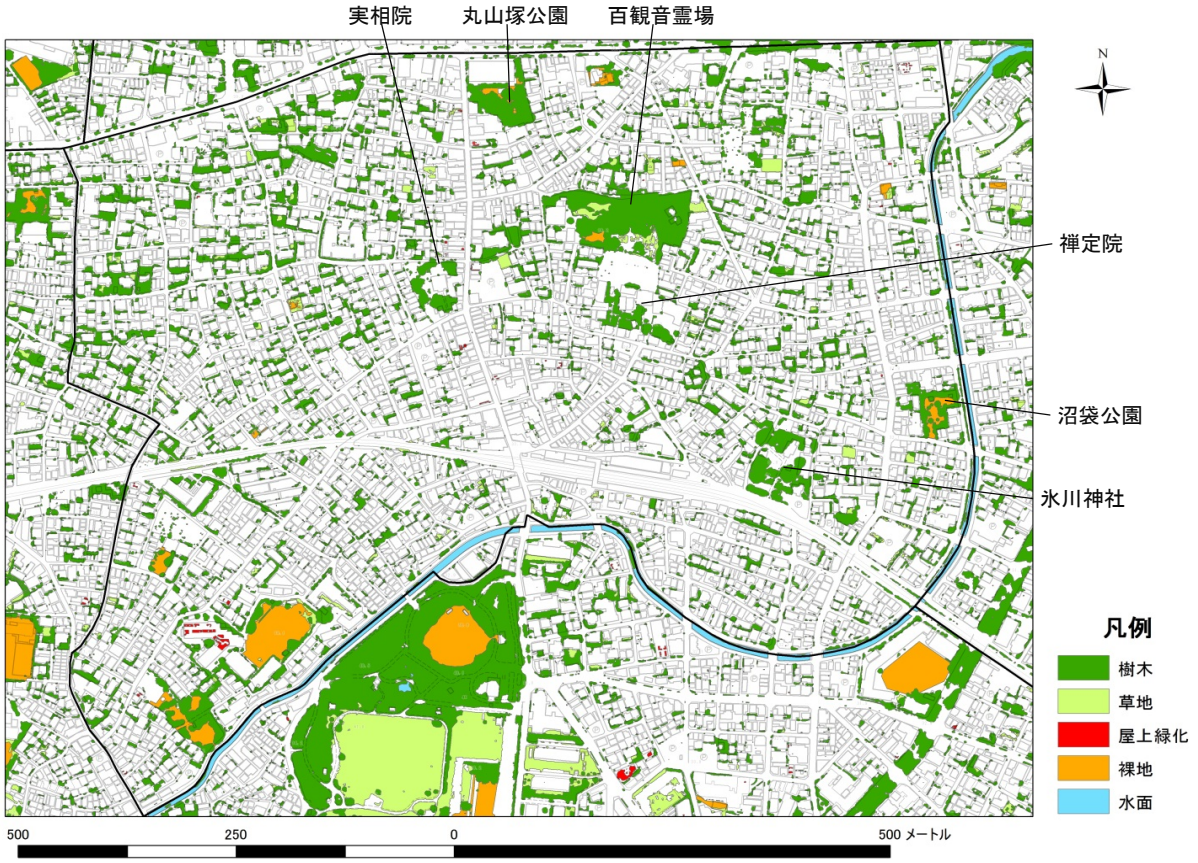
＜緑の概況＞

■樹林地が主に社寺林(保護樹林)や北側の丸山塚公園でみられる。
■小規模の樹木地は、主に緑化余地のある独立住宅等において確認されている。特に北側の樹木地が南側と比較し多い。
■接道部緑化率は5.91%と平均を下回り、町別で最も低い。1箇所当たりの延長が8m台と比較的低く小規模な接道部緑化が多い。
■10ha辺りの屋上緑化面積・樹木本数及び樹林率は、平均を大幅に下回っている。

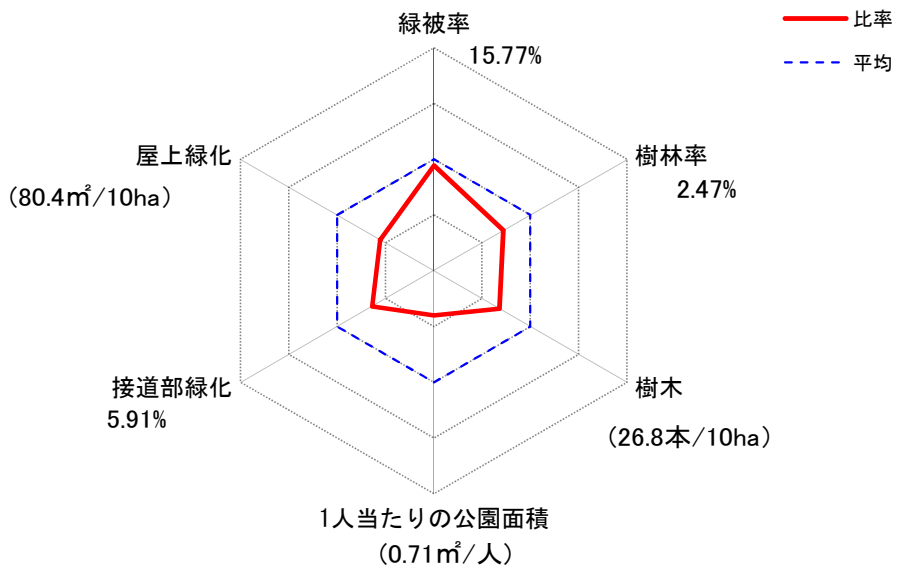
＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、15.77%と町別平均(16.73%)をやや下回る。緑被率の減少は、そのほとんどが樹木地の減少によるものであった。一方で、社寺林・公園の樹林は平成19年調査より増加している。
■接道部緑化延長の減少は、町別で2番目に大きく、民有地における接道部緑化の消失が確認されている。
■壁面緑化箇所数は、町別で最も多いが減少傾向にある。
【課題】公園や社寺林等の既存のみどりの継続的な保全及び西武新宿線の地下化に伴う上部空間利活用の検討が望まれる。また壁面緑化及び接道部緑化の推進も課題である。

<緑被地の分布状況>



<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	67.25 ha	人口	13,692 人	人口密度	20,359 人/k㎡

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	16.32	15.77	−0.55
樹木率	15.60	14.86	−0.74
草地率	0.65	0.83	0.18
屋上緑化率	0.07	0.08	0.01

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	16.92	16.70	−0.23
みどり面積（㎡）	113,808	112,286	−1,522

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	18,196	16,590	−1,606
屋敷林	759	664	−95
社寺林	5,722	11,543	5,821
公園	2,768	2,950	182
集合住宅	−	−	0
その他	8,948	1,433	−7,515

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	247	180	−67
本/10ha	36.7	26.8	−9.9

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	210	247	37
延長（m）	2,528.3	2,138.7	−389.6
接道部緑化率(%)	7.68	5.91	−1.77

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	43	30	−13
面積（㎡）	461	541	79
㎡/10ha	68.6	80.4	12

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	18	9	−9
面積（㎡）	324	238	−86
㎡/10ha	48.2	35.4	−12.8

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	6	6	−
面積(㎡)	9,732	9,732	− 0
1人当たり公園面積（㎡/人）	0.74	0.71	−0.03

松ヶ丘

<土地利用等>

区の北東に位置し、中野通り沿道と妙正寺川公園が第1種住居地域、その他は第1種低層住居専用地域に指定されている。
町面積は小さいが、哲学堂公園、妙正寺公園、江古田公園など規模の比較的大きい公園を多く有する。
人口密度も17,480人/k㎡と区の平均(20,498人/k㎡)と比較して低い。
集合住宅と独立住宅の割合は、ほぼ同割合である。

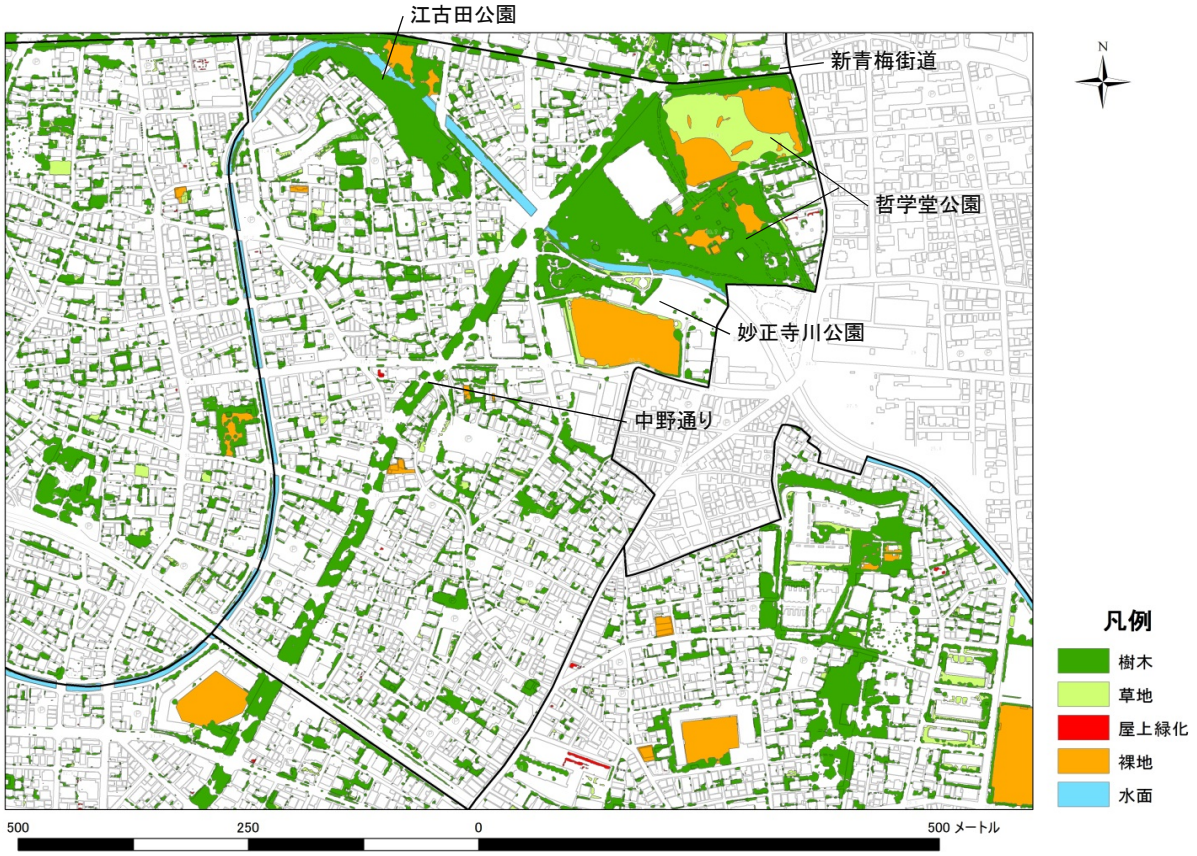
＜緑の概況＞

■哲学堂公園、妙正寺公園、江古田公園等の規模の大きい公園が主な樹林地を形成している。
■中野通り沿いの街路樹は、線状の連続した樹木地を形成している。
■民有地における樹木地は、そのほとんどが独立住宅にあるものである。
■接道部緑化は主に集合住宅において確認されている。

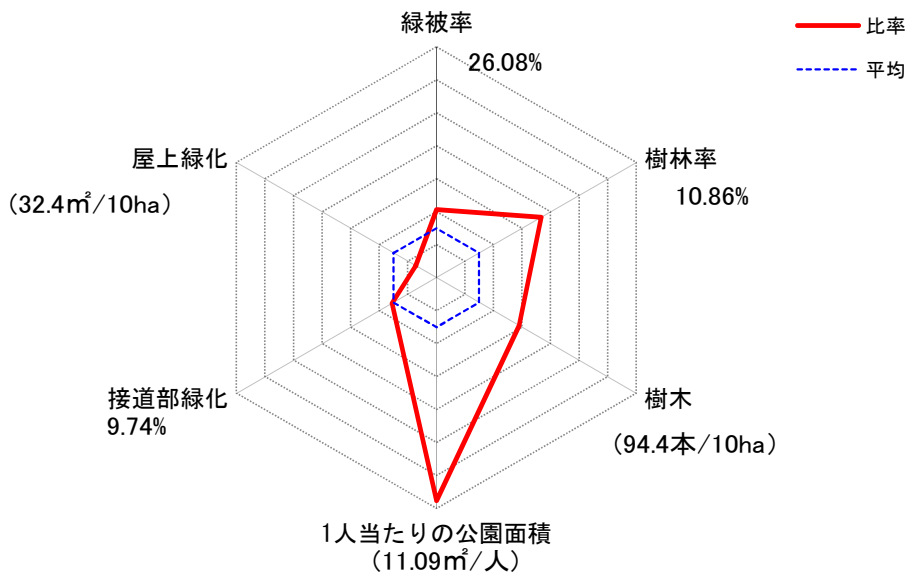
＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、26.08%と町別平均(16.73%)を大幅に上回り、町別で最も高い。主に公園の樹林が生長したことによる。
■草地は空地の宅地化等により減少している。また、接道部緑化と屋上緑化の減少が確認されている。
■公園規模に対し、人口が6,407人と少ないことから、1人当たりの公園面積は、11.09㎡/人と区の平均(1.77㎡/人)を大幅に上回る。また公園の樹林により樹林率、10ha当たりの樹木本数いずれも区の平均を上回る。
【課題】既存の公園の樹林の継続的な保全が望まれる。

<緑被地の分布状況>



<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	36.65 ha	人口	6,407 人	人口密度	17,480 人/k㎡

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	24.94	26.08	1.14
樹木率	22.14	23.69	1.55
草地率	2.75	2.36	−0.39
屋上緑化率	0.05	0.03	−0.01

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	34.35	35.59	1.24
みどり面積（㎡）	125,910	130,444	4,534

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	33,646	39,814	6,168
屋敷林	−	−	−
社寺林	−	−	−
公園	32,601	39,200	6,599
集合住宅	−	−	−
その他	1,046	614	−432

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	304	346	42
本/10ha	82.9	94.4	11.5

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	104	188	84
延長（m）	1,733.6	1,723.3	−10.2
接道部緑化率(%)	10.42	9.74	−0.68

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	14	10	−4
面積（㎡）	169	119	−50
㎡/10ha	46.1	32.4	−14

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	9	10	1
面積（㎡）	140	459	319
㎡/10ha	38.2	125.2	87.0

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	5	6	1
面積(㎡)	71,037	71,037	−
1人当たり公園面積（㎡/人）	11.86	11.09	−0.77

江原町

<土地利用等>

区の北東部に位置し、目白通り沿道等が近隣商業地域に指定されており、その他は第1種低層住居専用地域である。
公社江古田住宅や都営住宅等の公的集合住宅を有する。
集合住宅と独立住宅の割合はほぼ同割合である。
人口密度は17,865人/k㎡と区の平均(20,498人/k㎡)と比較し低い。

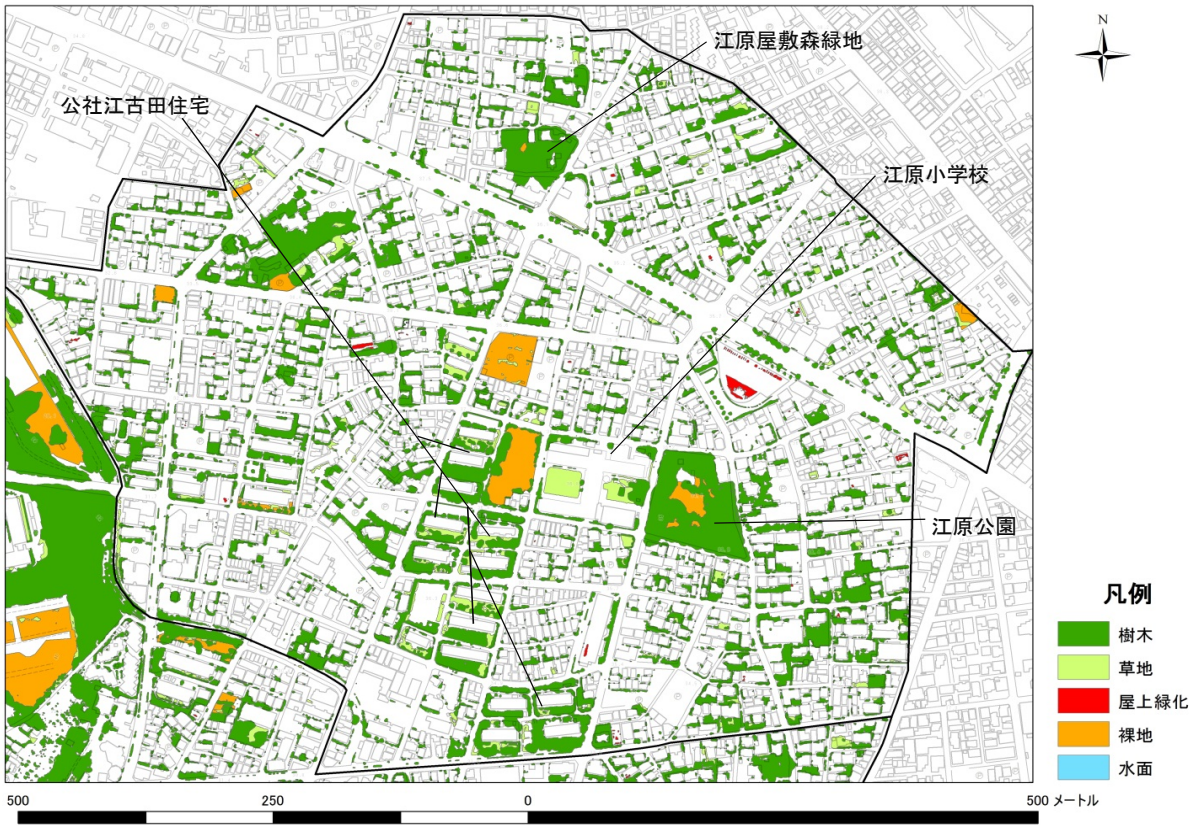
＜緑の概況＞

■公社住宅、江原公園、江原屋敷森緑地等に樹林地が形成されている。
■比較的規模の大きい住宅地が残り、主に独立住宅において樹木地が多く確認されている。
■草地は、江原小学校の校庭の芝生等が確認された。屋上緑化は、集合住宅等にみられる。
■接道部緑化は、生け垣の割合が植樹帯と比較し高く、集合住宅や学校に延長の長い接道部緑化がみられる。

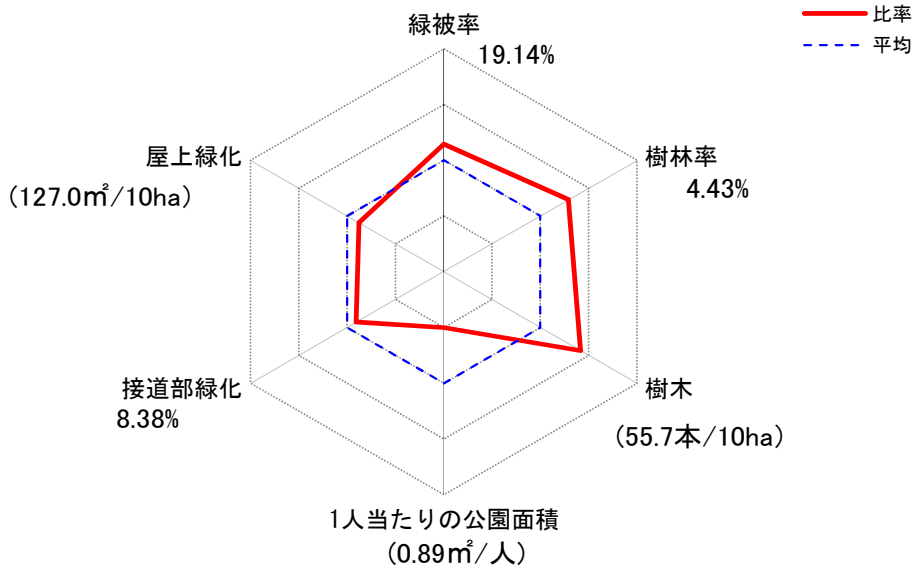
＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、19.14%と町別平均(16.73%)を上回る。樹木率は住宅地等の開発等により減少したが、草地は学校における校庭の芝生化や開発に伴う整備により増加した。屋上緑化は減少している。
■樹林は、集合住宅やその他の樹林における樹林の減少が大きい。公園の樹林は増加がみられる。
■接道部緑化延長と壁面緑化は増加が確認されている。
■公園は3箇所と少なく、1人当たりの公園面積も区の平均(1.77㎡)を下回る。
【課題】既存の公園や集合住宅におけるみどりの保全の推進や公園面積、箇所数共に低いことから新たな公園整備等の検討が望まれる。

<緑被地の分布状況>



<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	51.55 ha	人口	9,209 人	人口密度	17,865 人/k㎡

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	19.93	19.14	−0.79
樹木率	18.64	17.58	−1.07
草地率	1.12	1.43	0.32
屋上緑化率	0.17	0.13	−0.04

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	20.21	19.37	−0.85
みどり面積（㎡）	104,199	99,825	−4,374

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	98,010	22,834	−75,176
屋敷林	−	1,226	1,226
社寺林	−	−	−
公園	5,753	6,840	1,087
集合住宅	23,451	7,141	−16,310
その他	68,805	7,627	−61,178

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	273	287	14
本/10ha	53.0	55.7	2.7

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	169	243	74
延長（m）	2,185.7	2,285.0	99.3
接道部緑化率(%)	8.96	8.38	−0.58

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	19	27	8
面積（㎡）	859	655	−205
㎡/10ha	166.7	127.0	−40

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	8	9	1
面積（㎡）	160	231	71
㎡/10ha	31.0	44.8	13.8

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	3	3	0
面積(㎡)	8,159	8,159	−
1人当たり公園面積（㎡/人）	0.93	0.89	−0.04

江古田

<土地利用等>

新青梅街道北側に位置し、区内で一番大きな江古田の森公園を有する。新青梅街道等の幹線沿道は近隣商業地域、江古田の森公園周辺が第1種中高層住居専用地域で、その他は第1種低層住居専用地域に指定されている。
集合住宅と独立住宅の割合はほぼ同割合である。
人口密度は15,205人/k㎡と区の平均(20,498人/k㎡)と比較し低い。

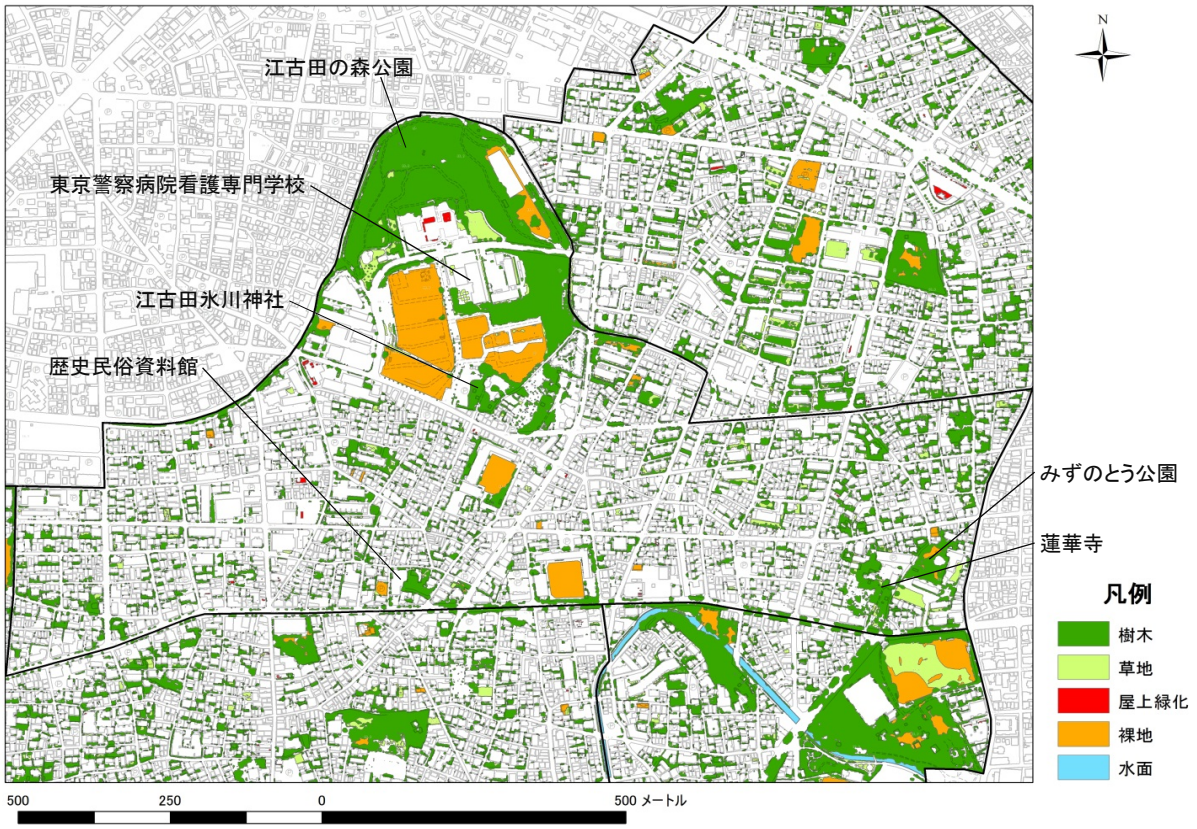
＜緑の概況＞

■みずのとう公園や区内で最も大きい江古田の森公園を有することから公園の樹林が樹林地の主を占める。
■江古田の森公園と隣接する氷川神社には社寺林(保護樹林)が存在する。
■集合住宅や学校において比較的まとまった樹木地がみられる。また東側では、規模の大きい独立住宅が多く、屋敷林やまとまった樹木地がみられる。
■草地は私立幼稚園の芝生地、小規模なものでは集合住宅等にみられる。
■屋上緑化は、高齢者施設等で確認された。
■接道部緑化は、延長の長いものが学校や集合住宅にみられる。

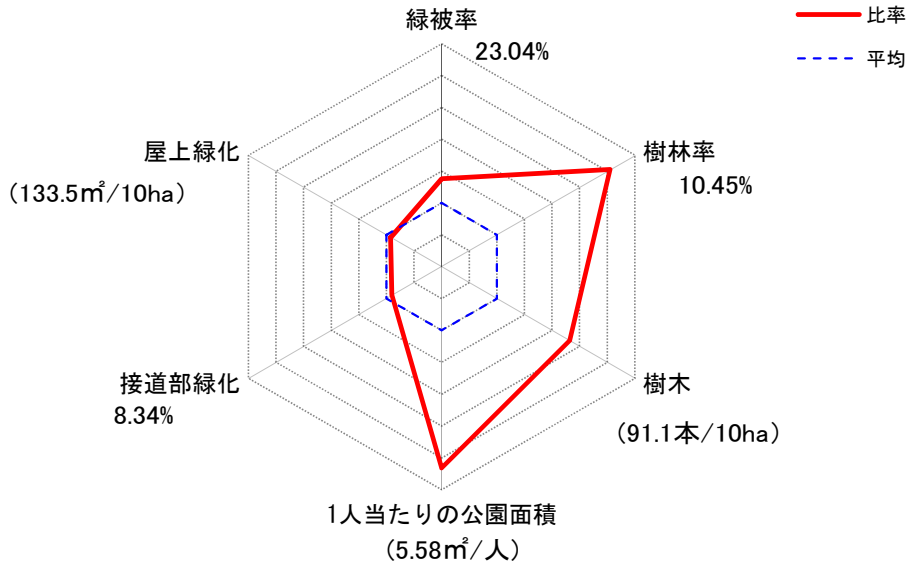
＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、23.04%と町別平均(16.73%)を大幅に上回り、町別で3番目に高い。これは区内で最も大きい江古田の森公園を有することによる。そのため1人当たり公園面積及び10ha当たり樹木本数も平均を大幅に上回る。
■樹木率の減少は、－1.88ポイントと高く、江古田三丁目地区の再開発に伴う一時的な更地化が影響している。
■樹林面積は、集合住宅の樹林の減少が最も大きい。一方で、公園の樹林は樹木の生長により増加している。
■壁面緑化面積の減少は町別で最も高く、接道部緑化についても減少が確認されている、
【課題】公園の樹林や屋敷林等の既存のみどりの保全や減少傾向にある区民による緑化に向けた周知等が望まれる。

<緑被地の分布状況>



<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	76.51 ha	人口	11,634 人	人口密度	15,205 人/km²

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	24.69	23.04	−1.65
樹木率	23.28	21.40	−1.88
草地率	1.30	1.51	0.21
屋上緑化率	0.11	0.13	0.02

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	25.76	23.78	−1.98
みどり面積（㎡）	197,061	181,933	−15,128

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	107,550	79,932	−27,618
屋敷林	4,965	3,500	−1,465
社寺林	6,524	6,999	475
公園	43,703	51,609	7,906
集合住宅	29,916	1,764	−28,152
その他	22,442	16,060	−6,382

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	846	697	−149
本/10ha	110.6	91.1	−19.5

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	219	349	130
延長（m）	3,076.4	3,058.6	−17.8
接道部緑化率(%)	9.26	8.34	−0.92

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	25	32	7
面積（㎡）	851	1,021	170
㎡/10ha	111.2	133.5	22

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	6	4	−2
面積（㎡）	341	107	−234
㎡/10ha	44.5	14.0	−30.5

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	7	6	−1
面積(㎡)	64,615	64,974	359
1人当たり公園面積（㎡/人）	5.44	5.58	0.14

丸山

<土地利用等>

環状七号線が中心を通る新青梅街道北側に位置し、環状七号線、新青梅街道沿道が近隣商業地域、その他が第1種低層住居専用地域に指定されている。
集合住宅と比較し独立住宅の占める割合が高い。
人口密度は18,173人/k㎡と区の平均(20,498人/k㎡)と比較し低い。
環七沿道地区は再開発促進地区区域に指定されている。

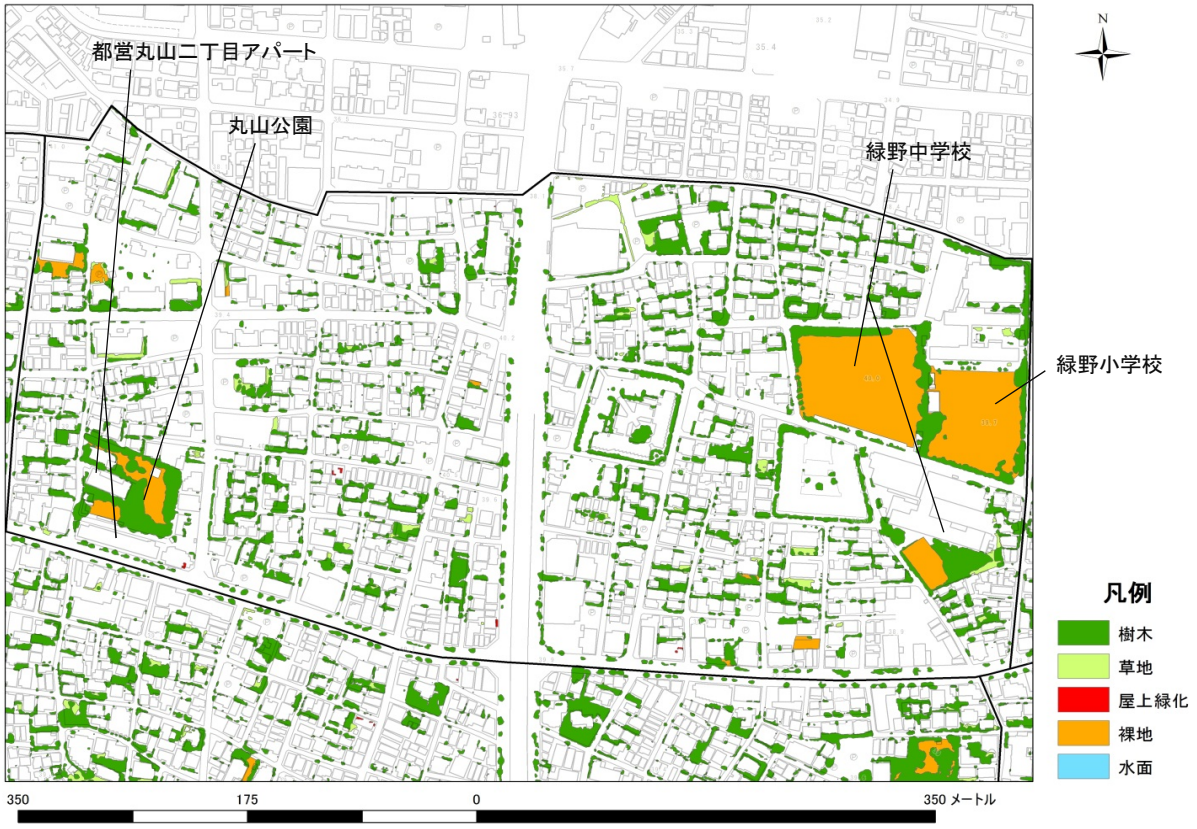
＜緑の概況＞

■南西に位置する丸山公園、都営丸山二丁目アパートや北東に位置する緑野小・中学校に、小規模ではあるが樹林地がみられる。
■樹木地は、環状七号線東側の規模の大きい集合住宅周囲等にみられる。
■北東には、まとまった樹木地が独立住宅において数カ所確認される。一方で、北西の樹木地の分布は少ない。
■接道部緑化は、延長の長いものが集合住宅等において確認され、生け垣の割合が植樹帯と比較し高い。

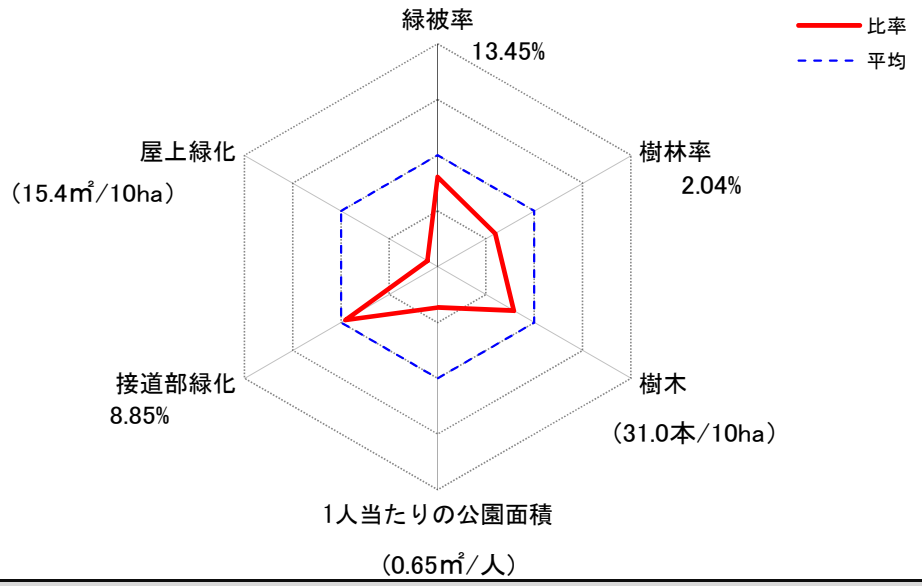
＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、13.45%と町別平均(16.73%)を大幅に下回る。住宅地の開発等による樹木地の減少が主な要因である。
■接道部緑化率は区の平均(9.26%)と大きく変わらないが、民有地等で消失し、延長は町別で3番目に多く減少している。
■1人当たりの公園面積、樹林率、10ha当たり樹木本数・屋上緑化はいずれも区の平均を下回る。
■壁面緑化においても減少がみられ、面積規模は小さいが、町別で2番目に箇所数が減少した。
【課題】既存のみどりの保全や再開発等の機会を活用した新たなみどりの拠点を確保する等の検討が必要である。また区民への緑化周知等が望まれる。

<緑被地の分布状況>



<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	27.40 ha	人口	4,980 人	人口密度	18,173 人/km²

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	15.00	13.45	−1.55
樹木率	14.13	12.80	−1.33
草地率	0.86	0.63	−0.23
屋上緑化率	0.01	0.02	0.00

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	15.28	13.88	−1.40
みどり面積（㎡）	41,875	38,028	−3,847

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	5,801	5,586	−215
屋敷林	−	−	−
社寺林	−	−	−
公園	2,771	2,520	−251
集合住宅		−	−
その他	3,030	3,066	36

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	135	85	−50
本/10ha	49.3	31.0	−18.3

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	129	159	30
延長（m）	1,622.0	1,488.1	−133.9
接道部緑化率(%)	10.73	8.85	−1.88

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	3	5	2
面積（㎡）	34	42	9
㎡/10ha	12.3	15.4	3

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	6	1	−5
面積（㎡）	44	15	−29
㎡/10ha	16.1	5.5	−10.6

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	2	2	0
面積(㎡)	3,222	3,222	−
1人当たり公園面積（㎡/人）	0.71	0.65	−0.06

野方

<土地利用等>

早稲田通り北側の環状七号線沿道に位置し、野方駅周辺が商業地域、環状七号線、早稲田通り等の幹線道路沿道が近隣商業地域、早稲田通り北側の一部が第1種中高層住居専用地域、その他は第1種低層住居専用地域に指定されている。
独立住宅の占める割合が集合住宅と比較して高い。
人口密度は、22,730人/k㎡と区の平均(20,498人/k㎡)と比較し高い。
環七沿道地区は沿道地区計画の区域に指定されている。

＜緑の概況＞

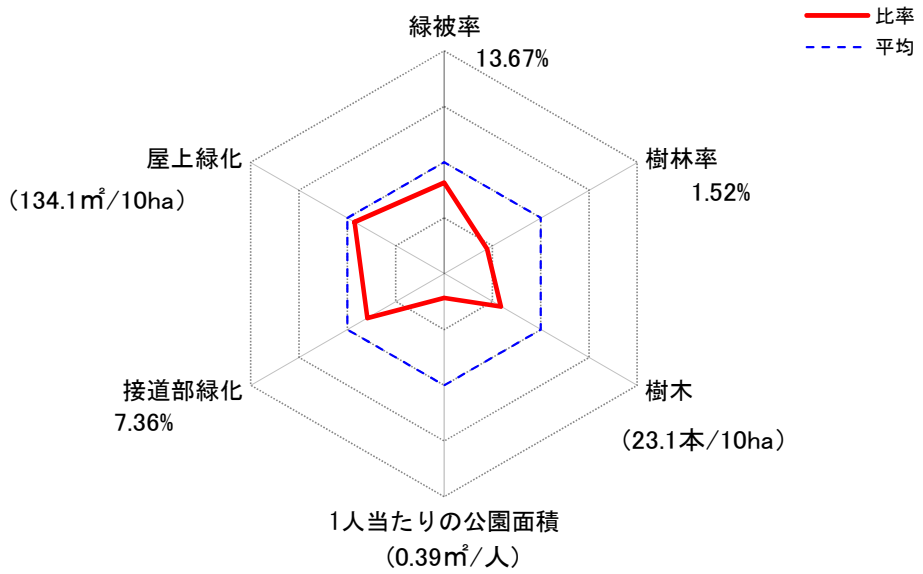
■まとまった緑被地は全体的に少ないが、北側の東山公園や北原小学校に樹林地を有する。
■中央部の野方団地(UR賃貸住宅)、屋敷林、都立中野工業高等学校や妙正寺川沿道等にも樹林地がみられる。
■南側には、早稲田通り公園やたんぽぽ公園等の小規模な公園の樹林が確認される。
■屋上緑化は北原小学校において規模の大きいものが確認されている。
■接道部緑化率は、町別で3番目に低く、8m台の規模の小さいものがそのほとんどを占める。

＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、13.67%と町別平均(16.73%)を下回る。野方団地(UR)の改修に伴い樹林地等が減少したこと等により樹木率が減少している。
■1人当たりの公園面積は、0.39㎡/人と町別で2番目に低い。
■接道部緑化、壁面緑化はいずれも増加している。屋上緑化面積は町別で3番目に大きく増加した。
【課題】接道部、壁面、屋上緑化がいずれも増加傾向にあり、更なる推進が必要である。また、公園等、新たなみどりの拠点を確保する等の検討が望まれる。

<緑被地の分布状況>

<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	92.76 ha	人口	21,085 人	人口密度	22,730 人/km²

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	13.34	13.67	0.33
樹木率	12.57	12.45	−0.12
草地率	0.73	1.08	0.35
屋上緑化率	0.04	0.13	0.10

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	13.75	14.28	0.52
みどり面積（㎡）	127,581	132,423	4,842

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	15,728	14,111	−1,617
屋敷林	3,516	3,528	12
社寺林	−	−	−
公園	432	4,036	3,604
集合住宅	3,401	1,716	−1,685
その他	8,379	4,831	−3,548

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	205	214	9
本/10ha	22.1	23.1	1.0

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	206	341	135
延長（m）	2,695.6	2,774.6	79.0
接道部緑化率(%)	7.93	7.36	−0.57

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	23	40	17
面積（㎡）	339	1,244	905
㎡/10ha	36.5	134.1	98

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	9	11	2
面積（㎡）	363	411	49
㎡/10ha	39.1	44.3	5.2

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	11	13	2
面積(㎡)	7,083	8,130	1,047
1人当たり公園面積（㎡/人）	0.37	0.39	0.02

大和町

<土地利用等>

環状七号線西側、早稲田通り北側に位置し、幹線道路沿道は近隣商業地域、大和町一丁目が第1種中高層住居専用地域、その他は、第1種低層住居専用地域に指定されている。
独立住宅の占める割合が集合住宅と比較し高い。
人口密度は、22,444人/k㎡と区の平均(20,498人/k㎡)と比較し高い。
環七沿道地区は沿道地区計画の区域に指定されている。

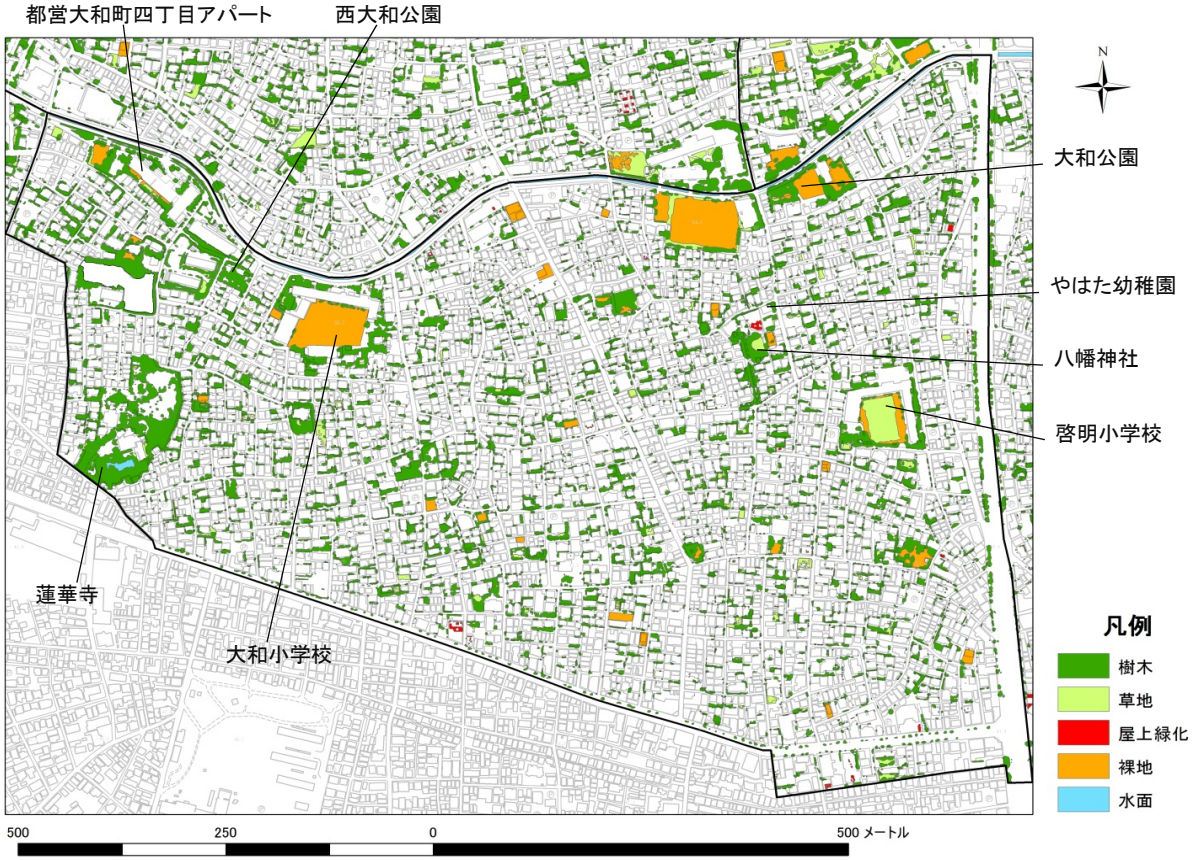
＜緑の概況＞

■西側に社寺林、また小規模な樹林地が大和公園や啓明小学校にみられる。
■北西に位置する都営大和町四丁目アパート、大和小学校、大和鹿鳴公園及びその周辺の独立住宅等においてまとまった樹木地が確認されるが、住宅地における樹木地はいずれも小規模であり、まとまった緑被地は少ない。
■草地は、啓明小学校の校庭の芝生、屋上緑化は幼稚園等で確認される。
■接道部緑化率は、町別で2番目に低く、1箇所当たりの延長が8m台と短いものが多く分布する。

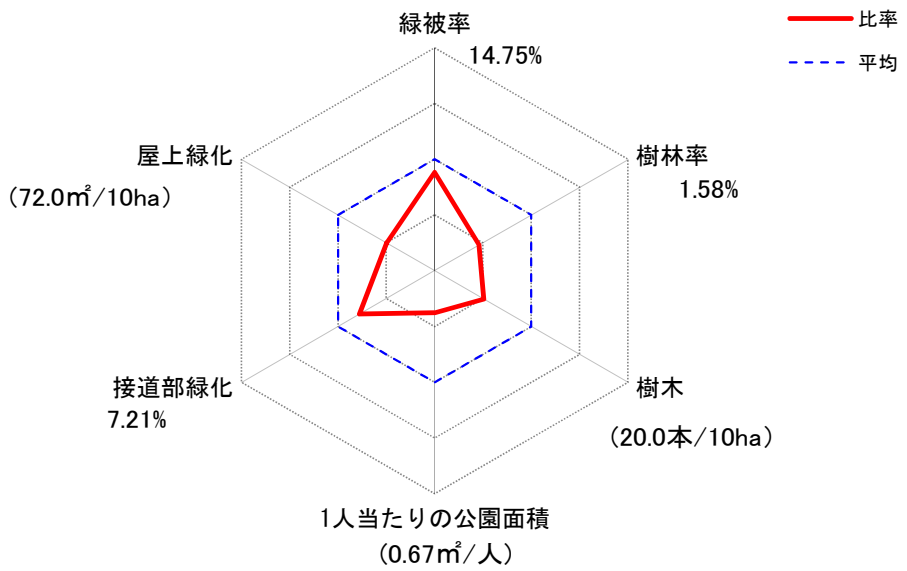
＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、14.75%と町別平均(16.73%)を下回るが、樹木、草地、屋上緑化率はいずれも増加している。
■樹林率は1.58%と区の平均(3.43%)を大幅に下回り、公園の樹林、屋敷林が主に減少している。
■接道部緑化率は区の平均(9.26%)を下回るが、接道部緑化箇所は増加している。
■屋上緑化は増加傾向にあるが、10ha当たりの屋上緑化面積は、区の平均(144.7㎡)を大幅に下回る。
【課題】既存の社寺林や公園等のみどりを保全し、みどりが減少傾向にある民有地において、接道部、屋上緑化等の推進を図り、新たなみどりの創出を促すことが課題である。

<緑被地の分布状況>



<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	69.93 ha	人口	15,555 人	人口密度	22,244 人/km²

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	14.28	14.75	0.47
樹木率	13.41	13.70	0.29
草地率	0.82	0.98	0.16
屋上緑化率	0.05	0.07	0.02

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	15.30	15.75	0.45
みどり面積（㎡）	106,985	110,153	3,168

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	16,166	11,016	−5,150
屋敷林	1,526	−	−1,526
社寺林	7,497	7,659	162
公園	3,864	1,615	−2,249
集合住宅	714	−	−714
その他	2,565	1,743	−822

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	228	140	−88
本/10ha	32.6	20.0	−12.6

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	130	195	65
延長（m）	1,635.5	1,592.9	−42.6
接道部緑化率(%)	8.79	7.21	−1.58

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	18	26	8
面積（㎡）	343	503	160
㎡/10ha	49.1	72.0	23

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	2	3	1
面積（㎡）	18	85	67
㎡/10ha	2.6	12.2	9.6

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	10	11	1
面積(㎡)	10,134	10,416	282
1人当たり公園面積（㎡/人）	0.69	0.67	−0.02

若宮

<土地利用等>

区西側の妙正寺川と西武新宿線にはさまれた場所に位置し、幹線道路沿道は近隣商業地域、その他は第1種低層住居専用地域に指定されている。
独立住宅の割合が集合住宅と比較して高い。
人口密度は19,164人/k㎡と区の平均(20,498人/k㎡)と比較し低い。

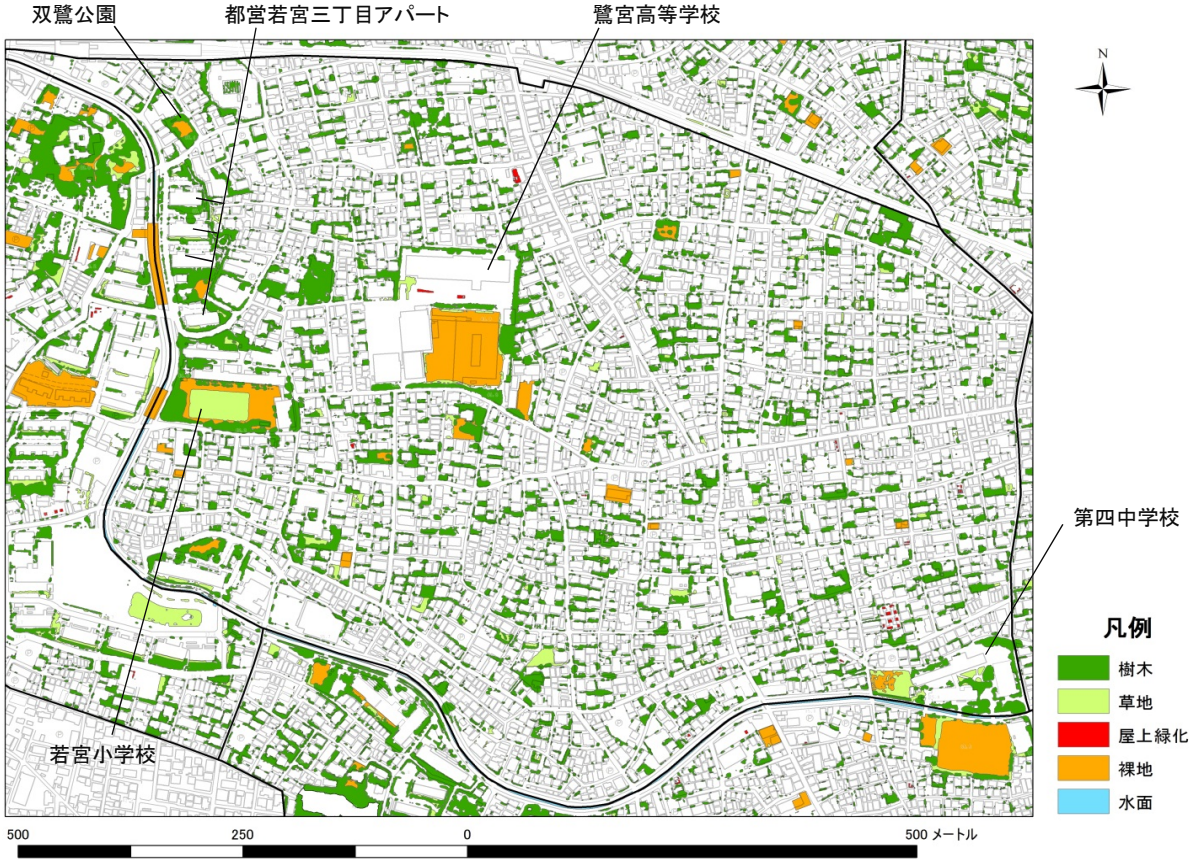
＜緑の概況＞

■西側に位置する都営集合住宅、若宮小学校、双鷺公園やかしの木公園において、まとまった樹木地がみられる。
■南東には、区立第四中学校に比較的まとまった樹木地がみられるが西側と比較すると緑被地は少ない。
■屋上緑化は、都立鷺宮高等学校や若宮一丁目の集合住宅等にみられる。
■規模の大きい草地は、若宮小学校の校庭芝生化により創出された。
■接道部緑化は生け垣が植樹帯と比較し多く確認されている。

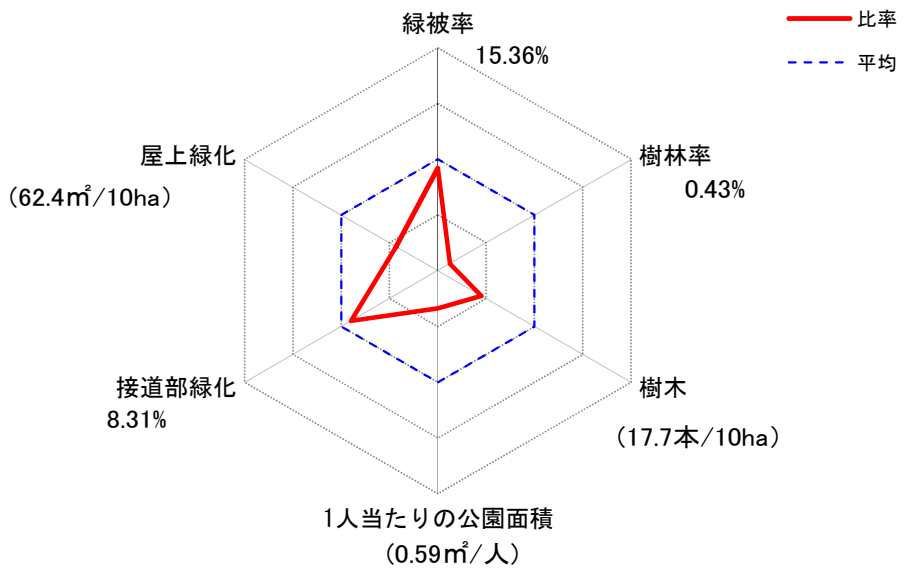
＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、15.36%と町別平均(16.73%)を下回る。主に住宅地の開発等により樹木率の減少がみられた。
■樹林面積は、公園の樹林が西大和公園における樹木の整理等により減少している。屋敷林、その他の樹林(学校等)の減少も多く確認されており、樹林率は0.43%と区の平均(3.43%)を大幅に下回る。
■接道部緑化率は、区の平均(9.26%)と大きく変わらないが、延長は減少傾向にある。
■草地率、屋上緑化率及び壁面緑化は増加している。
【課題】既存の公園や学校等の樹林地等の減少を抑制し、東側の公園等が少ない地域に対する緑化推進が課題である。

<緑被地の分布状況>



<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	66.25 ha	人口	12,695 人	人口密度	19,164 人/k㎡

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	15.93	15.36	−0.57
樹木率	15.11	14.19	−0.92
草地率	0.77	1.11	0.34
屋上緑化率	0.04	0.06	0.02

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	16.62	15.92	−0.71
みどり面積（㎡）	110,123	105,443	−4,680

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	11,344	2,847	−8,497
屋敷林	1,567	−	−1,567
社寺林	−	−	−
公園	1,932	−	−1,932
集合住宅	3,392	580	−2,812
その他	4,452	2,268	−2,184

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	203	117	−86
本/10ha	30.6	17.7	−12.9

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	220	280	60
延長（m）	2,535.2	2,452.7	−82.5
接道部緑化率(%)	9.47	8.31	−1.16

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	11	23	12
面積（㎡）	294	414	120
㎡/10ha	44.4	62.4	18

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	8	7	−1
面積（㎡）	243	188	−55
㎡/10ha	36.7	28.4	−8.3

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	9	10	1
面積(㎡)	7,255	7,551	296
1人当たり公園面積（㎡/人）	0.61	0.59	−0.02

白鷺

<土地利用等>

区西部の西武新宿線の南側に位置し、幹線道路沿道は第1種住居区域と近隣商業地域、公社住宅と都営住宅が第1種中高層住宅専用地域に指定されている。その他は、第1種低層住居専用地域となっている。
大規模な公的集合住宅があるが、集合住宅と独立住宅の割合はほぼ同割合である。
人口密度は、18,760人/k㎡と区の平均(20,498人/k㎡)と比較し低い。
白鷺一丁目地区は、狭あい道路が多く住宅の建て詰まりが見られる。

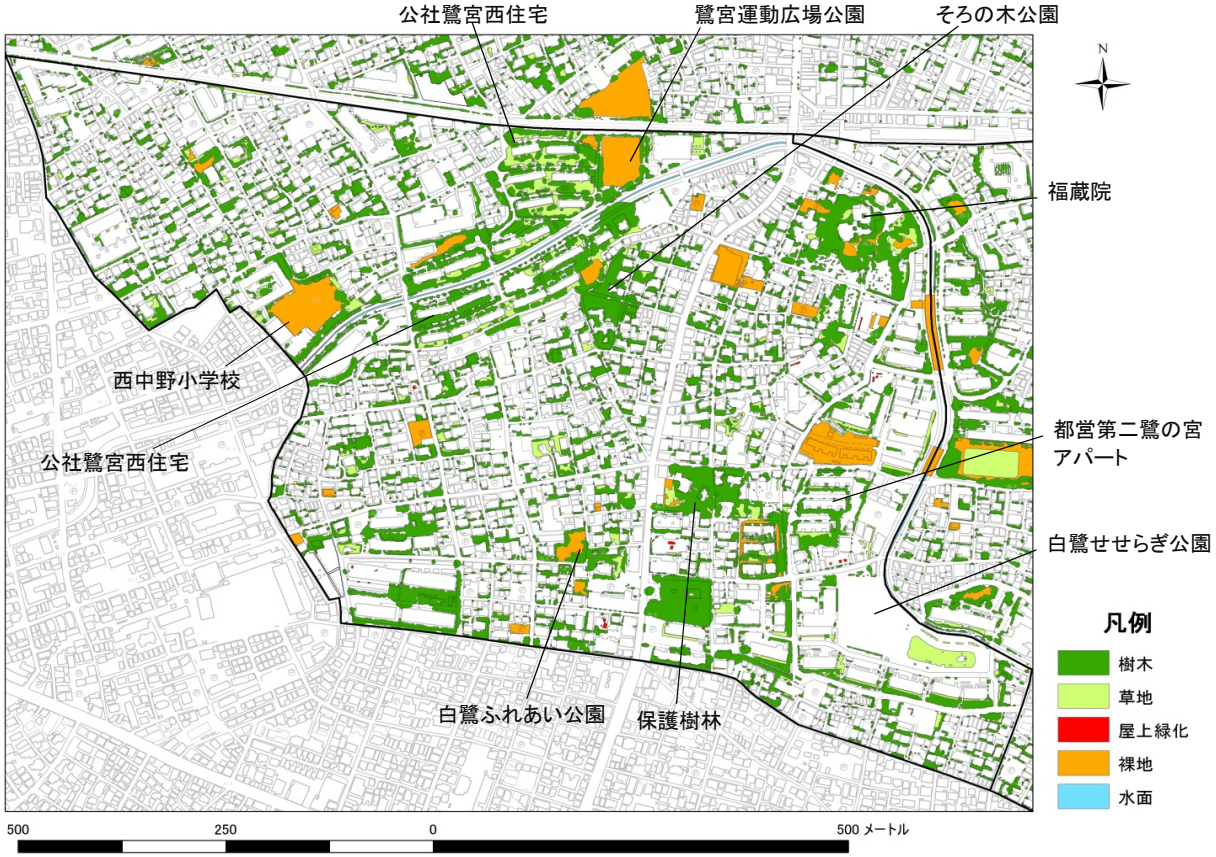
＜緑の概況＞

■鷺ノ宮駅南側は、八端神社や寺院の社寺林(保護樹林)が広がる地域の貴重な歴史資源となっている。
■平成19年度以降に白鷺せせらぎ公園が整備され、まとまった草地がみられる。
■公社鷺宮西住宅においては、樹木地と草地が多く確認されている。
■屋敷林の分布が比較的多くみられる。
■接道部緑化は、町別で2番目に高く生け垣が多く分布する。延長の長いものは、集合住宅や学校等に主にみられる。

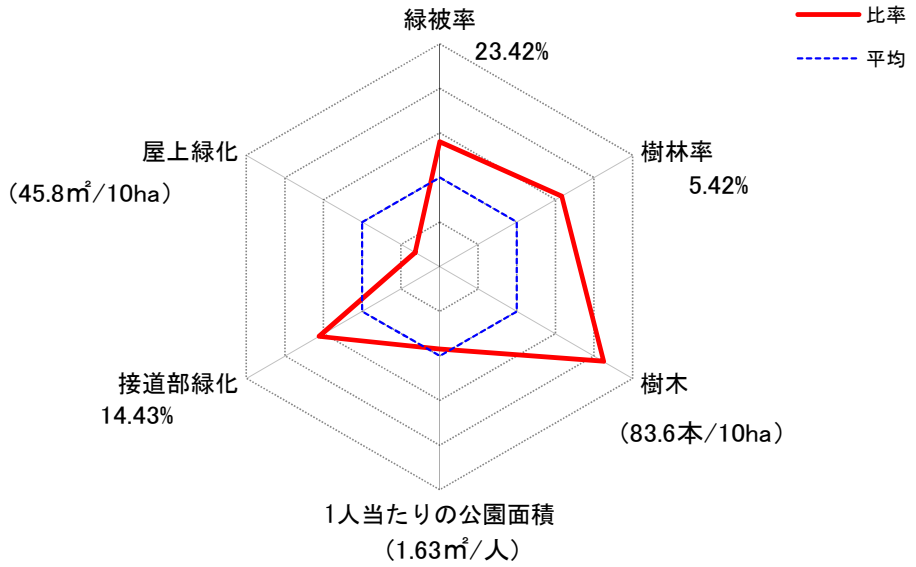
＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、23.42%と町別平均(16.73%)を大幅に上回り、樹木率は町別で3番目に高いが、平成19年度調査からの樹木の減少は町別で3番目に高く、特に集合住宅の樹林の減少が顕著である。
■みどり率は、主に樹木の減少により町別で2番目に多く減少している。
■社寺林においては、他町では増加が多く確認されているが駐車場整備に伴い伐採が確認され、減少している。
【課題】民有地や公的賃貸住宅に多く残されている樹木地や、保護樹林(屋敷林・社寺林)の保全、接道部緑化の更なる推進が望まれる。

<緑被地の分布状況>



<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	61.15 ha	人口	11,471 人	人口密度	18,760 人/k㎡

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	26.82	23.42	−3.40
樹木率	24.20	20.55	−3.66
草地率	2.59	2.83	0.24
屋上緑化率	0.03	0.05	0.02

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	28.19	25.82	−2.37
みどり面積（㎡）	172,381	157,865	−14,516

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	49,459	33,114	−16,345
屋敷林	10,624	10,801	177
社寺林	11,338	7,354	−3,984
公園	−	3,574	3,574
集合住宅	18,302	9,875	−8,427
その他	9,195	1,511	−7,684

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	606	511	−95
本/10ha	99.1	83.6	−15.5

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	231	366	135
延長（m）	4,444.9	4,574.8	129.8
接道部緑化率(%)	15.53	14.43	−1.10

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	10	15	5
面積（㎡）	182	280	98
㎡/10ha	29.7	45.8	16

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	5	6	1
面積（㎡）	152	176	24
㎡/10ha	24.9	28.8	3.9

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	6	8	2
面積(㎡)	9,286	18,729	9,443
1人当たり公園面積（㎡/人）	0.87	1.63	0.76

鷺宮

<土地利用等>

区北西部の西武新宿線と新青梅街道の間に位置し、中杉通り、新青梅街道等の幹線道路沿道は近隣商業地域と第1種住居地域で、残りは第1種低層住宅専用地域である。
人口密度は、18,625人/k㎡と区の平均（20,498人/k㎡）と比較し低い。
独立住宅の占める割合が集合住宅と比較し高い。

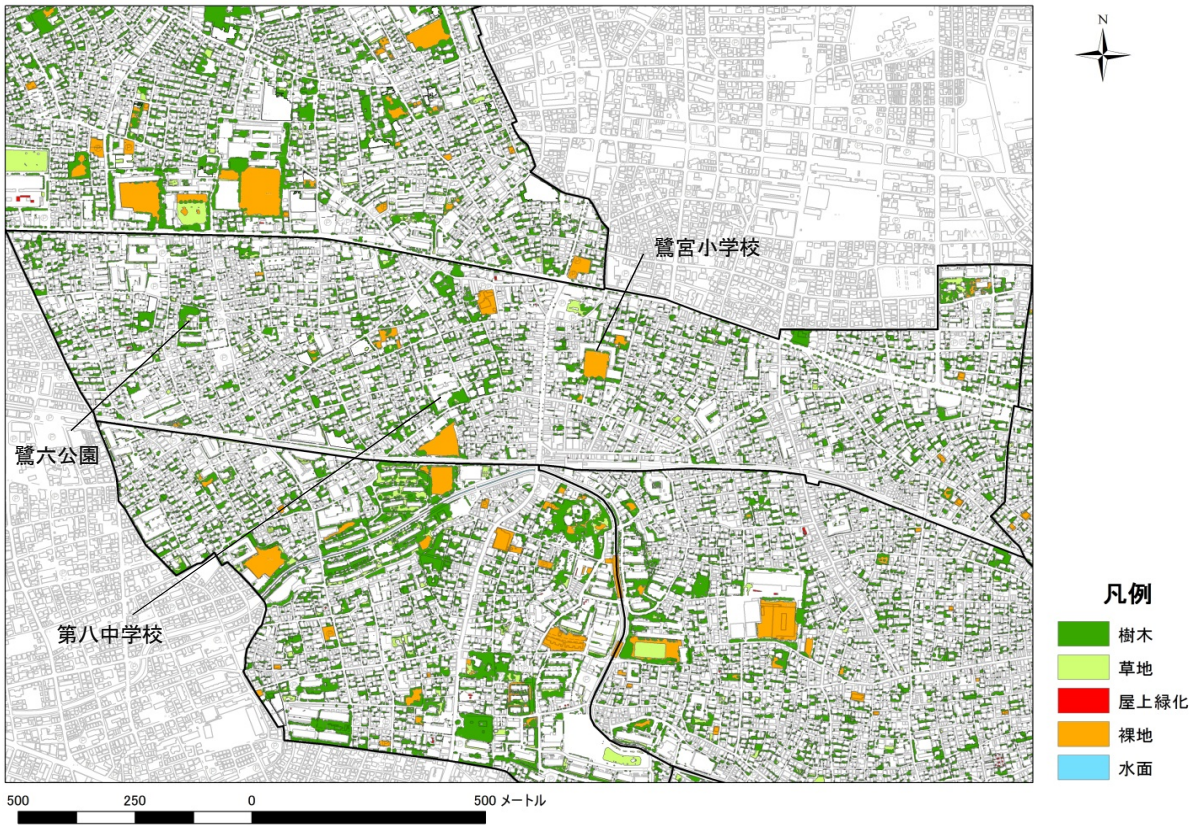
＜緑の概況＞

■まとまった樹木地が、鷺六公園・区立の小・中学校等にみられる。
■草地の多くは住宅の更地化に伴い増加した草地である。北東には、屋敷林とともに規模の大きい草地が確認されている。屋上緑化は、集合住宅等で確認された。
■接道部緑化は生け垣が多くみられ、特に集合住宅において確認された。
■生産緑地地区が2箇所指定されている。
■公園は小規模なものが多く、1人当たりの公園面積は0.25㎡/人と町別で最も小さい。

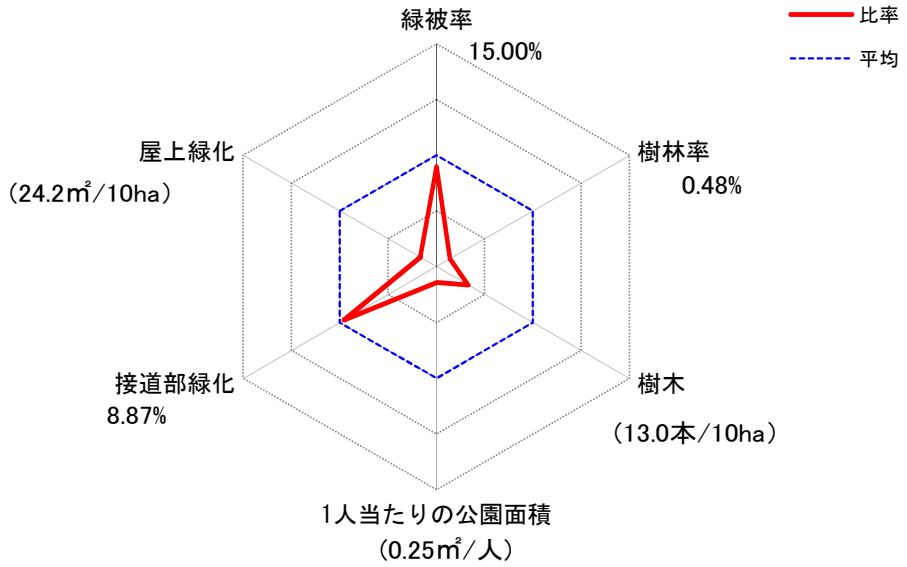
＜緑の評価と課題＞

■緑被率は15.00%と町別平均（16.73%）を下回る。緑被率は町別で最も減少し、主な要因は、大規模住宅地の開発等
に伴う樹木地の減少によるものであった。草地は分譲戸建て住宅の開発等により減少がみられた。
■樹林面積は、屋敷林と集合住宅の樹林の減少が著しく、樹木率の減少に影響していると考えられる。
■接道部緑化は増加傾向にあり、緑化率は区の平均（9.26%）にほぼ等しい。
■屋上緑化も増加傾向であるが、10ha当たりの屋上緑化面積は平均を大幅に下回る。
【課題】民有地における樹木・樹林地が減少傾向にあり、その保全と共に増加傾向にある接道部緑化を推進しみどりの拡充が必要である。

<緑被地の分布状況>



<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	88.50 ha	人口	16,484 人	人口密度	18,625 人/k㎡

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	17.44	15.00	−2.43
樹木率	16.23	14.23	−2.00
草地率	1.19	0.75	−0.44
屋上緑化率	0.01	0.02	0.01

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	17.62	15.21	−2.42
みどり面積（㎡）	155,947	134,572	−21,375

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	14,161	4,277	−9,884
屋敷林	5,480	1,324	−4,156
社寺林	−	−	−
公園	1,325	1,844	519
集合住宅	3,418	−	−3,418
その他	3,938	1,108	−2,830

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	117	115	−2
本/10ha	13.2	13.0	−0.2

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	282	399	117
延長（m）	3,418.3	3,834.6	416.3
接道部緑化率(%)	8.82	8.87	0.05

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	16	22	6
面積（㎡）	120	215	95
㎡/10ha	13.5	24.2	11

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	7	5	−2
面積（㎡）	105	387	282
㎡/10ha	11.9	43.7	31.8

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	8	8	0
面積(㎡)	3,835	4,156	321
1人当たり公園面積（㎡/人）	0.25	0.25	0.00

上鷺宮

<土地利用等>

区北西部の新青梅街道北側に位置し、新青梅街道沿道、中杉通り沿道、仙川通り北側は第1種中高層住居専用地域、第1種住居地域、近隣商業地域に指定されている。その他は第1種低層住居専用地域である。
人口密度は15,255人/k㎡と江古田に次いで区内で2番目に低い。
独立住宅が占める割合が集合住宅と比較し高い。
生産緑地地区については、町別で最も多く全11箇所中8箇所が上鷺宮に位置し、農地も複数存在する。

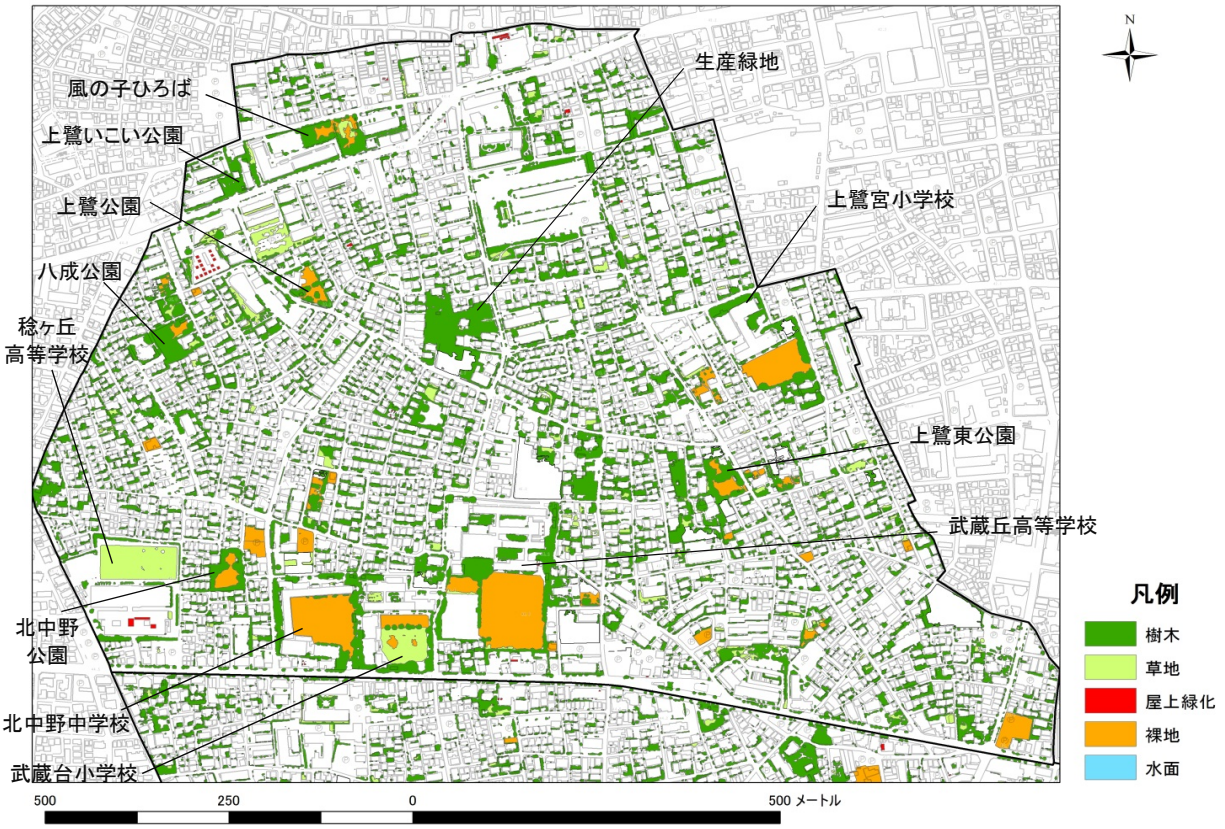
＜緑の概況＞

■八成公園、風の子ひろば、上鷺東公園等の公園、生産緑地や都立武蔵丘高等学校、北中野中学校、上鷺宮小学校等においてまとまった樹木地がみられる。
■独立住宅が占める割合が高いことから住宅地における樹木地も多く確認される。
■樹林面積は、その他の樹林の占める割合が高く、そのほとんどが学校における樹林地である。
■草地は主に上記学校の校庭芝生化によるものであり、屋上緑化は、主に都立稔ヶ丘高等学校等で確認された。
■接道部緑化は生け垣が多くみられる。特に学校や集合住宅を囲む延長の長い接道部緑化が確認された。

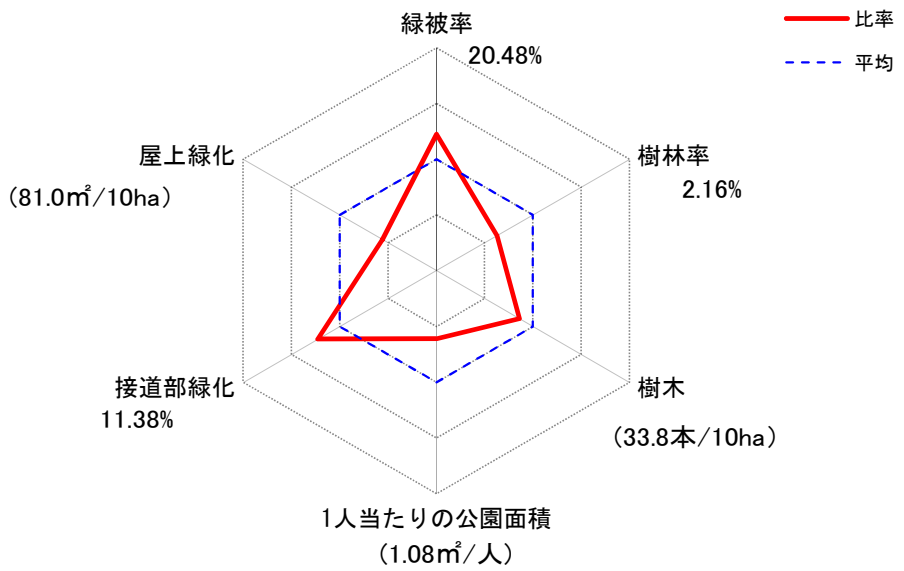
＜緑の評価と課題＞

■緑被率は、20.48%と町別平均(16.73%)を大幅に上回る。一方、草地は住宅の新設等に伴い町別で最も減少している。
■接道部緑化率は、平均を大きく上回り町別で3番目に高いが、平成19年度からは町別で最も減少している。
■屋上緑化、その他の樹林は増加しているが、公園の樹林・屋敷林は減少傾向にある。
【課題】主に住宅地の開発による樹木や草地の減少が確認されていることから、既存の樹木の保全及び接道部緑化の推進が課題である。また、生産緑地地区は平成19年度より1箇所指定解除がされ、減少傾向にあるため、対応策の検討が望まれる地域である。

<緑被地の分布状況>



<区平均との比較>



<緑の変化>

面積	91.76 ha	人口	13,998 人	人口密度	15,255 人/k㎡

①緑被率

単位%

調査年	平成19年	平成28年	増減（ポイント差）
緑被率	21.63	20.48	−1.15
樹木率	19.08	18.40	−0.69
草地率	2.50	2.00	−0.50
屋上緑化率	0.05	0.08	0.04

②みどり率

調査年	平成19年	平成28年	増減
みどり率（%）	22.28	21.09	−1.19
みどり面積（㎡）	204,445	193,556	−10,889

※みどり率増減はポイント差とする。

③樹林面積

単位：㎡

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹林面積	23,236	19,775	−3,461
屋敷林	3,901	660	−3,241
社寺林	−	−	−
公園	5,957	2,890	−3,067
集合住宅	1,136	308	−828
その他	12,242	15,917	3,675

④樹木

単位：本

調査年	平成19年	平成28年	増減
樹木本数	372	310	−62
本/10ha	40.5	33.8	−6.7

⑤接道部緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	307	516	209
延長（m）	5,892.2	5,418.6	−473.6
接道部緑化率(%)	13.36	11.38	−1.98

※接道部緑化率増減はポイント差とする。

⑥屋上緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	14	28	14
面積（㎡）	415	743	328
㎡/10ha	45.2	81.0	36

⑦壁面緑化

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	3	1	−2
面積（㎡）	38	20	−18
㎡/10ha	4.1	2.2	−1.9

⑧公園

調査年	平成19年	平成28年	増減
箇所	12	12	−
面積(㎡)	15,341	15,106	−235
1人当たり公園面積（㎡/人）	1.22	1.08	−0.14

28 中環地第 2778 号

中野区緑の実態調査（第五次）報告書
平成 29 年 3 月

発　　行：中野区環境部地球温暖化対策担当
〒164－8501 東京都中野区中野四丁目８番１号
電話：03－3389－1111（代表）

調査機関　国際航業株式会社

この報告書は再生紙を使用しています。